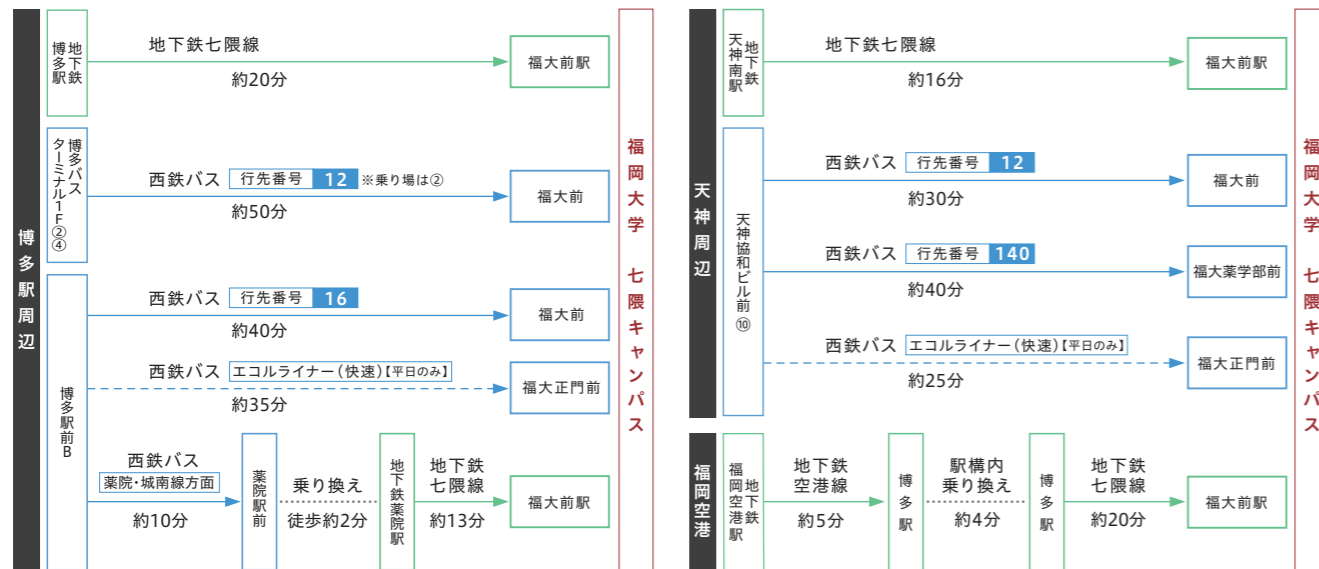


福岡大学アクセスマップ



交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

【高速道路】

唐津方面からの場合
 西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。



Faculty of Commerce

福岡大学

商学部

- 商学科
- 経営学科
- 貿易学科
- 商学部第二部 商学科[夜間部]
- 会計専門職プログラム





世界の注目都市・福岡で
商学の理論と応用実学を
バランスよく学ぶ。

Glocal

[Global + Local]

Contents | 目次

学部長メッセージ	01	商学部第二部 商学科	20
商学部 商学科	02	— 第二部商学科を理解する5つのポイント	22
— 商学科を理解する5つのポイント	04	— 社会人向けコース履修制度	23
— 教員の紹介	06	会計専門職プログラム	24
商学部 経営学科	08	— 会計専門職プログラムを理解する5つのポイント	26
— 経営学科を理解する5つのポイント	10	教育プログラム	27
— 教員の紹介	12	— 高校商業・情報科教員育成プログラム	28
商学部 貿易学科	14	— クリエイティブ・マネジメント・プログラム	30
— 貿易学科を理解する5つのポイント	16	— 地域ビジネスデザインプログラム	32
— 教員の紹介	18	— 海外交流ゼミナール	34
第二部主事メッセージ	19	商学部Q&A	35



Message | 学部長メッセージ

少人数ゼミナールと実践的専門科目群で考える力を育成し 企業や組織の中核を担うマネジメントリーダーに



商学部長 中川 誠士 NAKAGAWA Seishi

商学部3学科と商学部第二部商学科は、それぞれ独自の教育目標を定め、特色あるカリキュラムを提供していますが、共通する特長は、ゼミナールと実践的専門科目を重視していることです。学生は1年次から少人数のゼミナールに所属して、きめ細かな指導の下で専門分野の基礎を固めつつ、プレゼンテーションやコミュニケーションの能力を高めていきます。また、企業や行政、地域等と連携した実践的科目を学習することにより、ビジネスセンスを高めていきます。

さらに、学生の多様な学習ニーズに応えるために、以下のようなプログラムや奨学金制度を提供しています。「会計専門職プログラム」(商学部と第二部が対象)では、通常の学費のみで学外の専門学校講師による公認会計士試験等の受験対策講座を受けられます。「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」(商学部と第二部が対象)

では、通常の学費のみで知的コンテンツ産業(ゲーム、映画、アニメなど)のマネジメントを学ぶ独自の科目を受講できます。「高校商業・情報科教員育成プログラム」(商学科・経営学科・第二部商学科が対象)では、高等学校長の経験を有する特任教授の指導の下、大学在学中に、教員免許状の取得だけでなく、教員採用試験での合格を目指すことができます。

「商学部第二部」では、福岡大学内の色々な事務部署で働きながら夜間に学ぶ制度「学生支援ワークスタディ事業」に加えて、独自の給費奨学金制度を設置しております。奨学生は大学の授業料等と学外の専門学校等での学費について返還義務のない奨学金を支給されます。

商学部と商学部第二部で幅広い理論と実践力を習得し、地域や国際社会で活躍できる人材になりましょう。

Three Policies | 三つのポリシー

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)を指します。

商学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)

▼ AP



▼ CP



▼ DP



商学科

ゼミを核とした多様な科目群。
地域経済からグローバル社会まで
あらゆるステージで活躍できる
ビジネスリーダーを育成。

「商学」とは市場を中心に、消費者・企業・行政などが複雑に関係し合う現実のビジネスについて、そのメカニズムを解明しようとする学問です。

このため本学科では学びに3領域6分野を設定しています。学生個々の目標に応じて専門的に、あるいは総合的に、1年次から4年間にわたるゼミでの学びや活動を通じてビジネスリーダーに不可欠な“観察・構想・実践”の能力を習得します。

地域経済の活性化からグローバル市場の開拓に至るまで、あらゆる場面で活躍できる人材を育てます。

取得可能な主な資格

- 高等学校教諭一種免許
- 中小企業診断士
- 税理士
- 公認会計士
- 簿記検定
- 情報処理
- ファイナンシャルプランナー
- 証券アナリスト など

福岡大学 商学部 Webサイト



求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、それらを社会や地域との関係を軸に考え解釈することに興味がある人
B	技能	自分の興味・関心を起点に情報や他者の意見を集め、それらを素材に論理的に考え自分の意見を表現することができる人
C	態度・志向性	社会の一員であることに自覚的で、社会や地域に貢献したいと思う使命感をもった人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



商学科での4年間

1年次

基礎ゼミなどで
学びの土台を
固める

4年間の学びの土台となる入門科目や「商学基礎ゼミナール」から経済や社会への関心、理解を高める。

2 / 3年次

3領域6分野に設定した専門領域から学ぶ
専門ゼミナールで学びを深める。

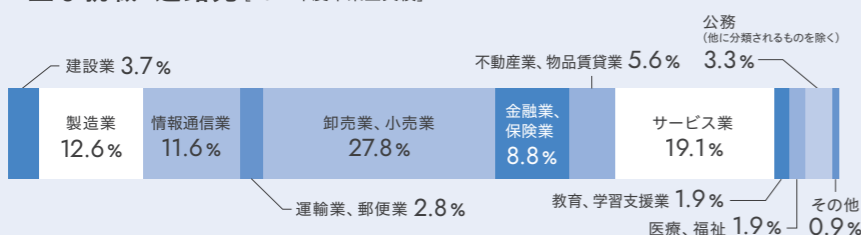
金融・保険領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融分野 ■ 保険分野 	最先端の金融、その動向やメカニズムに関する専門的な理解を深める。 各種の保険が果たす、経済機能や金融機能を専門的かつ高度に学ぶ。
情報・流通・マーケティング領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報・サービス分野 ■ 流通・マーケティング分野 ■ 交通分野 	市場を読み、新たな動きに注目しつつ今後の社会を探る。 流通やマーケティングの現象と変化を体系的に学ぶ。 社会経済活動の土台となる交通の仕組みや役割について考える。
商業史領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業史分野 	地域の発展などについて、歴史と商業の視点から理解を深める。

4年次

卒業論文で
学びを
集大成する

それまでの専門科目やゼミでの研究成果を卒業論文にまとめ、4年間の集大成とする。

主な就職・進路先 [2022年度卒業生実績]



● 商学部の主な就職先は **36ページ**

在学生の声

一から企画してやり遂げたゼミでの経験。
実践経験が着実に力になる。

Q1 この学科の魅力は？

さまざまな研究分野から商学を学べる点です。入学以前は、「ヒト・モノ・カネ」の動きについて学ぶという漠然としたイメージでしたが、「流通・マーケティング」「情報」「金融・保険」「交通」「歴史」などあらゆる視点から「商(あきない)」を知ることができました。2年次後期からは、ゼミに分かれて興味のある分野を深く掘り下げることができます。

Q2 好きな授業は？

「3年専門ゼミナールⅡ」です。私は、「交通とまちづくり」を研究するゼミに所属して、佐賀県呼子町の魅力を発信するマルシェを企画しました。約半年間をかけて準備した前例のない出店企画でしたが、グループで話し合いながら着実に進め、計2回の出店をどちらも黒字で終えることができました。実践する機会が多いのは、商学部ならではの特長だと思います。

🕒 時間割 [3年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		地域商業論			
10:40	情報社会論	マクロの生物科学			
13:00	近代日本商業史	哲学B	公共経済学	日本文学B	
14:40	証券と金融	3年専門ゼミナールⅡ		海上保険論B	
16:20					

👉 その他カリキュラムの詳細は



山西 理央 さん

商学部 商学科 3年次生
福岡県 八幡南高校出身

※2022年取材時の情報です。

卒業生の声

事業存続には伝統と革新が欠かせない。
ここでの学びが家業の道しるべとなった。

私の実家は、大正15年より続く福岡県久留米市にある精肉店です。久留米市内を中心に、学校給食や保育園、飲食店への精肉の卸売りと、店頭での国産精肉や自社製食肉加工品の製造販売などを手掛けています。

在学中の授業では、伝統を大事にしながらも、その時々リーダーの経験や思いなど、新しい価値を加えなければ、刻一刻と変化する環境に対応し、次世代につなげることはできないのだと深く理解することができました。

本学科では、マーケティングや会計、金融、商業史など、会社を運営するために必要な知識を広く身に付けることができます。卒業後、一度は一般企業に就職しましたが、学生時代の学びがきっかけ

なり、家業に戻る決意に至りました。ぜひ積極的に学び、挑戦を重ねながら、早い段階から経営者感覚を磨いてください。



中村 拓也 さん (2012年卒業)

魚久精肉総本店

※2022年取材時の情報です。

商学科を理解する5つのポイント

01

人・モノの流れをつかむ

「交通」では「人やモノをいかに効率的に移動させるか」という課題について、経済学などを通じてアプローチします。市場の動向やビジネスの仕組みを「人やモノの流れ」を通じて捉える能力を養います。

関連する主な科目

■交通経済論

交通渋滞や公共交通の存続問題など交通システムが直面する課題をいかに克服するかについて、経済学を通じて学びます。

■交通政策

交通・物流・情報における容量の不足・高コスト現象に最新理論の光をあてて分析します。

■特別講義F(企業戦略におけるロジスティクスの現状と今後)

メーカー、卸売企業、小売企業、運輸企業9社(2022年度)の方々に登壇いただき、現場情報をもとに新たな問題発見ができるような人材育成に取り組んでいます。



市場動向の情報を精査し読み解く能力を養う

04

「情報・サービス」では、市場の仕組みから市場調査によって得られるデータの処理に至るまで最新の機器を用いて学習します。インターネットやデジタルトランスフォーメーション等がもたらした高度情報社会で収集されるデータを精査し適切に読み解く能力を養います。

関連する主な科目

■市場分析論

商業・経済データがどのように関連して動いているのか、それらのつながりを学びます。

■情報社会論

現代の情報社会の成り立ちと、デジタルトランスフォーメーションについて学びます。

■情報産業論

情報の観点から技術と産業を学び、さらには市場における消費者を読み解きます。

■情報処理入門・情報処理基礎

データ処理とデータ分析について機器を用いて実習します。



02

高感度な“マーケット・レーダー”を身に付ける

「流通・マーケティング」では市場の動向や仕組み、その変化に対してアプローチします。市場を観察して動向を捉え、次を予測するための高感度な“マーケット・レーダー”を身に付けます。

関連する主な科目

■マーケティングリサーチ

データを取得・解析し、仮説検証を通じて科学的なマーケティング戦略の評価・立案を学びます。

■マーケティングデータ解析

ビッグデータの分析を通じてインターネット上の顧客行動を可視化させ、顧客へのアプローチを学びます。

■マーケティング戦略論

今まさにパラダイムシフトが起こっています。この科目では市場をみとくときのあなたのメンタルモデルとメガネをチェックし、新しいものへ取り換える思考実験を学びます。



05

企業の発展を正しくとらえる歴史観と戦略的思考力を培う

「歴史」(商業史)では江戸期に発祥、今なお隆盛の老舗・大企業の発展史などにアプローチします。過去から現代を見直し、企業の発展を正しく論じるための歴史観を養うと同時に、次代のビジネスを開くための戦略的思考力も養います。

関連する主な科目

■商業史入門

商業関係のしくみの起源を探るとともに、商業史・経済史研究の動向をたどります。

■商業史概論

現代の経済に対する理解を深めるために、歴史を見る眼を養うことを目指します。

■近代日本商業史

幕末開港期・明治以降の日本がたどった商業の展開を学んでいきます。

■近代西洋商業史

ヨーロッパ世界の拡大とそれに続く資本主義経済の展開を学んでいきます。



03

事業を進めるために不可欠な資金の流れなどを理解する

「金融・保険」では金融や保険の仕組みはもとより、企業における資金調達と運用やリスクマネジメントについてなど、事業を進めるために不可欠な知識を修得します。資金の流れから市場動向を正確に捉えるといった能力も身に付けます。

関連する主な科目

■金融論

銀行と証券を二つの柱にして、実態と金融の両面から日本経済を学びます。

■保険論

個人や企業が「リスク」に対応するための有効な手段である保険について学びます。

■生活保障論

私的保障としての生命保険に焦点を当て、生命保険や社会保険について学びます。

■リスクマネジメント論

主に企業におけるリスクマネジメントの体系的な考え方について基礎から学びます。



TOPICS

学科の取り組み

WEBのアクセス解析やビッグデータ解析もやります

「マーケティングデータ解析」という講義では、Google Analyticsを使ってECサイトのアクセスログを分析したり、数千行・数百列という単位の実際の首都圏の消費者データを分析したりします。講義をやる前は難しそう!と思いますが、いざやってみるとできるもので、楽しそうに分析結果をプレゼンしています。なんでもネットを介し、データが溢れてその分析ニーズが高まっている時代ですが、時代に求められる具体的な分析スキルを身に付けられます。

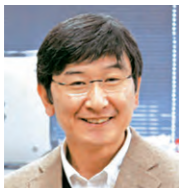


ロゴの違いによる売上差を調べた学生のスライド

教員の紹介

※2023年4月1日現在

流通・マーケティング



笹川 洋平 教授

担当科目

「地域商業論」「流通政策」

地域社会と商業、商店街の関係の変化をたどりながら、商業、街づくり、流通政策の三つの視点を持って、望ましい地域社会と商業の関係とはどうあるべきで、そのために求められる資源とは何か、これからの課題について考えます。



杉本 宏幸 教授

担当科目

「流通・マーケティング入門」「マーケティングリサーチ」

普段お店に並んでいる商品はどこから流通し、どう作られたのか考えてみたことはあるでしょうか。「流通・マーケティング入門」では、初めて流通やマーケティングを学ぶ人を対象に身の回りを観察しながら学んでもらいます。データを使って意思決定し、アクションをとることがいままや当たり前になりつつあります。マーケティングに関わって立案した新製品・企画を精度高く実現するために「マーケティングリサーチ」は力を発揮します。



太宰 潮 教授

担当科目

「消費者行動論」「マーケティングデータ解析」

消費者行動論では、人間の原理や根本的な特性などを押さえながら、それがどうマーケティングに生かせるかを学びます。学生さんのアルバイトにもすぐに生かせるような知識を提供します。マーケティングデータ解析では、現代に欠かせないWEBサイトのアクセスログの分析と、数千行&数百列という、少し大きいデータの分析を行います。



田村 馨 教授

担当科目

「サービス・マーケティング」「サービス・マネジメント」「ソーシャル・イノベーション」

20世紀はモノビジネスの時代。21世紀はサービスビジネスの時代。マーケティングもマネジメントも変わらざるを得ない。そういう観点から、マーケティングやマネジメントがどう変わるかを明らかにします。21世紀は社会性とビジネスの両立が企業に求められる時代。企業の社会的責任が主流だった20世紀に不可能だと思われていた社会性とビジネスの両立を実現するイノベーションについても学びます。



明神 実枝 教授

担当科目

「流通システム論」

スーパーやコンビニ、オンラインストアなどの小売業態はなぜ、どのように誕生し、存続し得ているのでしょうか。その背後には大きな仕組みがあり、買い物により楽しく便利になるよう工夫する経営者がいます。近年では、リサイクルのブランド化や資源循環システムも組み込まれ始めています。本授業では、それらの仕組みや工夫を学びます。



村上 剛人 教授

担当科目

「マーケティング戦略論」「マーケティング論」「特別講義F(ロジスティクス論)」

インターネットの普及に伴い、企業と消費者の関係、さらには消費者同士のコミュニケーションのあり方が大きく変化する中で、これまでの企業が採用してきた商品やサービスを販売するマーケティングのやり方が通用しなくなり、まさに考え方を大きく変化させるパラダイムシフトが発生しています。これから消費者と企業がいかに共創していくのか、その考え方ややり方を明らかにしていく内容を考えていきます。

情報



永星 浩一 教授

担当科目

「市場分析論」「情報社会論」

市場分析論は、「現代の市場」を「情報」の観点から分析する応用経済学の解説を行います。情報社会論は、市場に大きな変化をもたらした「情報」ですが、その「情報」と「社会」との関わりを歴史的視点から解説します。さらに現代のビッグデータおよび人工知能社会がどのように成立したのか、今後どうなっていくのかについて解説します。



弘津 真澄 教授

担当科目

「情報産業論」「情報処理入門」「情報処理基礎」

「情報産業論」では、色も形もない情報を正確に捉え、情報を生み出す部品を自在に操り、流通や経営の中で起こっている現象を容易に説明したり、より効果的に情報を生み出したりする方法を、授業を通して一緒に考えていこうと思っています。

「情報処理入門・基礎」では、情報技術のハード・ソフト・ネットワークについて実習を交えながら授業をしています。使えるではなく、作れるようになることを目標にしています。

金融



中塚 晴雄 准教授

担当科目

「金融論」「金融入門」

お金から見る経済学です。景気と銀行と株式と企業と理論が範囲になります。分かりやすい、親しみやすい、手に取りやすい、授業を心掛けています。



新田町 尚人 准教授

担当科目

「銀行論」「金融システム論」

銀行を含めたお金の受け払いや貸し借りをを行う仕組みは金融システムと呼ばれています。銀行は預金を集め、企業に貸し出す重要な役割がありますが、近年は貸出以外で利益を上げようとしています。また、インターネットによって海外や個人間の送金が低価格で行えるようになりました。このように大きな変革期を迎えている銀行や金融システムの現状と課題を学び、今後どのような役割を果たせば良いのかを一緒に考えましょう。



田中 義孝 講師

担当科目

「証券と金融」「証券市場論」

「証券と金融」では金融という視点から企業の活動を説明していきます。企業が活動する中で必要な資金をどのような形で集めるのか、資金の集め方にはどのようなリスクや特徴があるかなどについて学びます。「証券市場論」では株式に代表される証券が取引されている仕組みや、証券価格の決め方や分散投資の意義など証券投資の基礎的な知識について学んでいきます。

保険



植村 信保 教授

担当科目

「保険論」「リスクマネジメント論」

リスクマネジメントや保険の考え方は、皆さんが将来何に取り組むにしても、有力な武器になります。実務家としての経験を生かしつつ、リスクを正しく理解し、個人や企業がリスクとどう向き合うかを学ぶ授業を行います。



伊藤 豪 准教授

担当科目

「保険論入門」「保険論」「生活保障論」

「保険論入門」では「危険とは何か?」「保険とは何か?」「保険とはどんな仕組みで成り立っているのか?」などの基礎理論を説明し、「保険論」では保険事業や保険政策について学び、現代的課題について考えていきます。「生活保障論」では保険や年金によってどのように生活設計をし、生活保障を達成していくのかを考えていきます。さらに公的保障と私的保障の諸問題についても学んでいきます。

交通



鈴木 裕介 教授

担当科目

「交通経済論」「交通経済入門」

交通システムとまちづくりには密接な関係があります。交通事業者はどのような経営戦略をとっているのか、そして私たちのまちづくりとどのような関わりがあるのかなど、経済学や経営学の視点から、交通システムのあり方や都市政策について分析していきます。



陶 怡敏 教授

担当科目

「サプライチェーンマネジメント」

サプライチェーンマネジメント(Supply Chain Management)とは、原材料や部品の供給から製造、卸売り、小売りを経て最終消費者に至るサプライチェーン(供給網)について、電子情報ネットワークを基盤にキャッシュ・フロー効率の最大化を図るための総合的な経営手法です。サプライチェーンは、相互依存関係を保ちながら、サプライヤーから最終消費者に至る情報と物のフローを制御、管理、改善するよう協力し合う企業組織の戦略的ネットワークであります。

商業史



藤田 裕邦 准教授

担当科目

「西洋商業史」「近代西洋商業史」

西洋商業史、近代西洋商業史では、西洋の商業・経済・社会の歴史を見ていきます。西洋の中核となるヨーロッパがまとまった一つの地域として成立するのは中世に入ってからのことなので、西洋商業史では中世を扱います。中世の社会構造である領主制と共同体が解体するのとはほぼ同時期にヨーロッパ人の活動は地球規模に拡大し、ヨーロッパ社会も変貌を遂げていきます。近代西洋商業史では、それ以降の近世・近代を扱います。



本村 希代 准教授

担当科目

「日本商業史」「近代日本商業史」

日本商業史では古代から江戸時代まで、近代日本商業史では明治から現代までの、日本の商業の歴史を取り上げます。過去を振り返り、今につながるストーリーを読み解いていくと、現代社会の在り方が見えてきます。日本には100年以上続く、長寿企業が数多く存在します。このような老舗の経営から、その永続要因を探ってみるのも、歴史の面白さと言えます。

経営学科

目標は「会計がわかる経営人」
「経営がわかる会計人」。
高度な専門知識と思考力を
身に付ける。

経営学科では「企業を“ヒト・モノ・カネ”および“情報”の集合体である」ととらえ、それらを経営と会計の2分野からアプローチしてトータルに学修していきます。

そして高度な専門知識と思考力、その2つを駆使して問題を解決していく能力、およびマネジメントリーダーに不可欠な豊かな人間性を身に付けていきます。

その目標には2分野があり、「会計がわかる経営人」あるいは「経営がわかる会計人」の2つ。

プロフェッショナルな経営者や起業家、公認会計士や税理士などの専門職を目指した、“目的意識”のある学びに取り組むことができます。

取得可能な主な資格

- 高等学校教諭一種免許
- 中小企業診断士
- 税理士
- 公認会計士
- 簿記検定
- 基本情報技術者
- ファイナンシャル・プランナー
- 証券アナリスト など

福岡大学 商学部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

A 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、社会・経済事象に強い関心を持っている人
B 技能	学習や課外活動での経験によって、他者とのコミュニケーションがとれる人
C 態度・志向性	マネジメントリーダーまたは職業会計人となる気概をもち、他者と協働して社会に貢献したいと考えている人
D その他の能力・資質	自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



経営学科での4年間 起業家(アントレプレナー)への夢もバックアップ

1年次

経営と会計の基礎を学修

経営と会計、両分野の基礎学修から今後の学びの土台を構築。「経営基礎ゼミナール」で知覚する興味・関心を2年次の専門選択につなげる。

2/3年次

専門を選びゼミに取り組む

1年次の学びをベースに「経営」または「会計」の専門を選び、ゼミで研究や実践に取り組む。

経営

経営活動の仕組みを学び、マネジメントのプロを育成。

会計

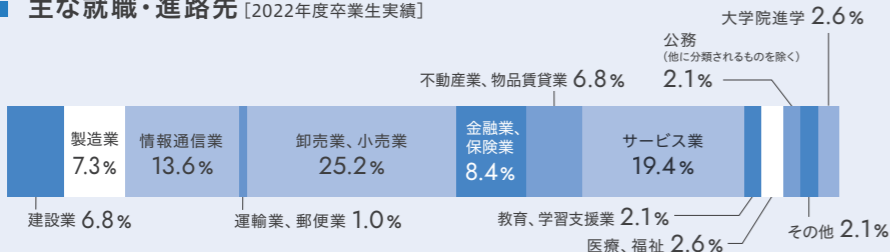
企業の制度・理論を学び、会計のエキスパートを養成。

4年次

卒業論文で学びを集大成する

それまでのゼミでの研究や実践行動から得られた知見を卒業論文にまとめ、4年間の集大成とする。

主な就職・進路先 [2022年度卒業生実績]



●商学部の主な就職先は36ページ >

在学生の声

実践的な学習で高い専門性を習得。
経営に必要な新しい視点を発見できた。

Q1 この学科の魅力は？

マーケティングや経営心理学、会計など経営に必要な仕組みやルールを基礎から応用まで幅広く学びます。商業高校では簿記などの資格取得のための勉強を中心に勉強していましたが、大学では机の上で学習したことを実践に近いかたちで学べるので、より深い理解につながります。ゼミの数も豊富で、さまざまな分野から経営について学びを深めることができます。

Q2 好きな授業は？

実在する企業の事例を取り上げながら、経営戦略についてさまざまな角度から考え、課題を見つける術を学ぶ「経営戦略論」です。自分では思い付かないような「逆転の発想」を毎回学ぶことができ、新しい視点に日々気付かされます。本学科で学んだ経営学を生かして、将来は会社の経営に携わる人材になりたいと考えています。



寺崎 しおりさん

商学部 経営学科 4年次生
佐賀県 佐賀商業高校出身

※2022年取材時の情報です。

時間割 [3年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40			財務会計論	貿易商務論A	国際会計論
13:00		哲学A	経営戦略論	自然科学入門	
14:40				マーケティング戦略論	3年専門ゼミナールI
16:20		教育論A	九州の経済・経営A		

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

経営戦略についての多様な学びが
私の人生を豊かにしてくれた。

人事コンサルティング会社で、大手企業向けの組織開発に関する営業の仕事をしています。「人」や「組織」の問題解決や願望実現のための伴走と支援を、主な業務としています。

「経営戦略論」と「企業戦略論」の授業で使った教科書は社会人になって再び開くこともあり、授業で学んだ「ヒトを大切に作る経営戦略」は、仕事や人生における礎となりました。実践的な経営戦略や企業戦略を学習する前に「モノの見方」を学び、意識し始めることができたのは、人生におけるかけがえない財産だと言えます。

また、経営戦略を学ぶゼミ活動の一環で、福岡市内の銭湯経営者と共に、活性化のための政策について議論を交わし、実行に移しました。「ゆるキャ

ラ」作りをはじめとした行政との連携や小学校での授業を通じて、幅広い世代とつながりを築くことができ、良い経験となりました。



溝口 文菜さん (2016年卒業)

株式会社リンクアンドモチベーション
組織開発Division MCEカンパニー 営業企画ユニット

※2022年取材時の情報です。

経営学科を理解する5つのポイント

01

マネジメントのプロを育成

企業の組織管理について具体的な諸問題にアプローチします。マネジメントに必要なさまざまな科目や少人数の専門ゼミを通して戦略策定、組織構築、人的資源管理などの経営学を体系的に学びます。経営者に限らず、マネジメントを担うことのできる人材は会計も理解する必要があります。簿記をはじめとする豊富な会計科目を通して、経営を数字の面から理解していくことを目指します。

関連する主な科目

■経営入門

経営学の基礎的知識や物事を考える力を身に付けていきます。

■経営学総論

経営を「経営されるもの」と「経営するもの」の両面から捉えていきます。



04

起業の可能性を高める学びを数々提供

起業(=会社を自分で設立して運営する)を意識する学生には、戦略的意思決定のシミュレーション手法や国際市場への進出手法を学ぶことを推奨しています。これらに各専門科目の学びにより培った知識と理論を応用し、起業の可能性を高めます。

関連する主な科目

■企業戦略論

企業を長期的な成長に導く計画を立てるために考えるべきことを学びます。

■意思決定会計論

会計情報に基づく企業の意思決定を学びます。

■会社簿記

会社の経営状況を把握し、利害関係者に情報を提供する方法を学びます。

■税務会計論

会社経営と税金の問題は密接に関係していることを学びます。



02

会計のエキスパートを養成

公認会計士、税理士といった士業としての会計のプロフェッショナルはもちろんのこと、企業内で経営者をサポートする経営企画部門や財務部門で働く人材を養成します。実践的な会計の専門科目や、会計を専門とする少人数の専門ゼミで会計を体系的に学びます。また、会計だけではなく、経営学の諸科目を履修することで、数字の裏にある人や組織の動きも捉えられる会計のエキスパートを目指します。

関連する主な科目

■簿記原理

企業の経済活動を記録する手段である簿記と簿記を含む会計学の基礎を学びます。

■原価計算論

製品の原価(一単位当たりの金額)を正確に計算することで、会社の経営活動を学びます。



05

実践につながる「特別講義」や資格取得の「支援講座」を開講

事業(家業)承継や企業経営に意欲的な学生が、さらに実践的に学べる「特別講義」を開講しています(単位認定対象)。また、公認会計士、税理士、簿記検定などの資格取得の「支援講座」を積極的に開講しています。キャリアセンターによる資格取得講座(課外)の受講も奨励しています。

関連する主な科目

■経営特別講義A(経営×デザイン)

デザイン思考やサービスデザインなど企業経営における価値創造とデザインの関係を学びます。

■特別ゼミナールB(会計プロフェッショナル養成)

新会計基準および国際会計基準の理論的背景とその内容を学びます。



03

理論(考え方)×実践(現実)

経営学科の講義では経営の理論(考え方)について実際の企業のケースに基づき学習します。経営理論を学ぶだけでなく、さまざまな業界の優良企業についての知識も身に付きます。またゼミナールでは経営理論の実践に挑戦したり、実際の経営について調査を行ったりすることで実践と理論を結び付けていきます。

関連する主な科目

■経営管理論

組織を形成し、動かしていくための原理・原則を学んでいきます。

■オペレーションズリサーチ

経営における、ものごとの上手な決め方を学びます。

■会計学特論

企業制度や企業グループの会計処理などについて学びます。

■経営分析論

会計情報から何を読み取るかを学びます。



TOPICS

学科の取り組み

経営学科の初年次教育—経営基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ

経営学科では高校の学びから大学の学びへのスムーズな接続を重視しています。1年前期の経営基礎ゼミナールⅠでは、「問いを立てる」ことや、信頼できる論拠(一次資料など)に基づき主張を展開すること、論理的文書の作成といった大学での学びの土台を学びます。1年後期の経営基礎ゼミナールⅡでは、アカデミック・ライティング、アントレプレナーシップ、ビジネス・モデル、量的・質的研究法など経営学のトピックスを学びます。



経営基礎ゼミナールⅠでのグループワークの様子

教員の紹介

※2023年4月1日現在



篠原 巨司馬 教授

担当科目
「管理会計論」「クリエイティブ・マネジメント演習」

管理会計論は、経営を行っていく上で会計数値を使い、どのように戦略的な意思決定や現場での新たなイノベーションの機会探索を行うのかというテーマと、会計情報を用いて組織をどのように動かすのかというテーマの両面について考える授業です。クリエイティブ・マネジメント演習は、ゲームの分析・制作を通じて企画プロセスを学ぶ実践的な科目です。



田坂 公 教授

担当科目
「原価計算論」

工業経営で行われる簿記と初歩的な原価計算について併せて学習していきます。リングでビジネスを行う方法を商業経営と工業経営で分けて考えてみましょう。八百屋は、リングを仕入れたらそれに利益をつけてそのまま売ります(商業経営)。一方、飲料水メーカーでは仕入れたリングをリングジュースに加工して販売します(工業経営)。加工したとき、「ジュース1本あたりの原価を計算」して利益を算定する技術が「原価計算」です。



中村 信博 教授

担当科目
「簿記原理」「会計学総論」

「簿記原理」では、かの文豪ゲーテが「人知の創造し得た最高のもの一つ」とまで賞賛する複式簿記固有のメカニズムを学び、会計情報作成のための記録・計算技術を身に付けます。「会計学総論」では、会計学の基礎を幅広く学び、「ビジネスの世界における共通言語」の理解を深めます。



渡辺 剛 教授

担当科目
「簿記原理」「財務会計論」

経営学科の専門科目には、経営学に関連する科目(経営系列科目)と会計学に関連する科目(会計系列科目)があります。「簿記原理」も会計系列科目です。会計とは、企業の経済活動を記録、集計、報告する行為です。「簿記原理」では、企業の経済活動を記録、集計、報告する具体的な方法を学びます。



飛田 努 准教授

担当科目
「経営分析論」「意思決定会計論」

企業経営の成果や進捗は貨幣的価値で測定されます。そうした情報は経営者だけでなく、従業員、取引先、投資家などさまざまな利害関係者に利用されます。経営分析論は、企業が報告する財務諸表と実際の企業行動を突き合わせながら、「良い企業」とはどのような企業なのかをデータに基づいて検証する授業です。意思決定会計論は、企業において経営者が意思決定を下す際の判断基準となる情報がいかに作られ、判断するかを学ぶ授業です。

会計系列



池田 健一 教授

担当科目
「国際会計論」「会計学特論」「簿記原理」

国際会計論は、企業の経済活動が国境を越えてグローバルに展開されるようになるのに伴って生じる会計上の問題(例えば、連結会計、外貨換算会計、企業結合会計など)を主な研究領域としています。国際会計論の授業では、国際財務報告基準(IFRS)と日本の会計ルールの共通点と相違点に着目しながら学習します。会計学特論は、国際会計論の授業で取り上げなかった重要論点について学習していきます。



高橋 秀至 教授

担当科目
「税と生活」「税務会計論」

租税は、国民生活のあらゆる場面で課されます。税法は、租税債権・債務にかかる国家と国民の権利・義務を規律する法であり、「税と生活」では、税法の基礎理論を学習します。税務会計は、申告納税方式の租税に関する会計です。申告納税方式の租税は、納税者(国民)自身が確定申告をして、税法にしたがった納税義務を履行しなければなりません。「税務会計論」では、法人税の課税要件について学習します。法人税法の解釈を学び、法人税の計算ができるようになります。



長束 航 教授

担当科目
「会計学総論」「会社簿記」「監査論」

会計学総論では、会計学を勉強していくための前提として、会計学の基本中の基本の考え方を学習します。企業では、そもそもなぜ会計が必要なのでしょう?会計にはどのようなルールがあり、そのルールはどのように作られてきたのでしょうか?会計のもっとも中心的な概念として「利益(もうけ)」がありますが、その「利益」とは何なのでしょう?実際に起きた会計に関する事件なども紹介しながら、会計学の面白さをお話しします。



山内 進 教授

担当科目
「税と生活」「税務会計論」

税と生活では、所得税法と相続税法について学習します。所得税は、私たちの生活に一番密着した税金です。所得を10種類に分け、そこから所得控除を引き、税率をかけた税金が計算されます。借入金控除等を知らないと損をしまうこともあります。また相続税は被相続人が財産を残して亡くなった場合、財産を取得した相続人にかかる税金です。小規模宅地等の課税特例など知っておくと役立つことをたくさん学習します。



飯塚 雄基 准教授

担当科目
「簿記原理」「財務会計論」「監査論」

いずれも企業の財務諸表を理解するための科目です。簿記原理は財務諸表作成の方法、財務会計論は財務諸表作成の考え方、そして監査論は財務諸表への信用を確保するための方法を学ぶ科目です。



滝沢 凜 助教

担当科目
「経営基礎ゼミナール」「特別講義C(会計プロフェッショナル養成)」

福岡大学の会計専門職プログラムは、深い教養および高度な会計学の理論を身に着け、在学中に公認会計士試験に合格することを目標とするものです。プログラム生を対象とした「経営基礎ゼミナール」では、グループワークを通じて、会計専門職や経済事象への理解を深めます。また、「特別講義C(会計プロフェッショナル養成)」では、公認会計士試験の試験委員(作問者)の視点に立ち、グループごとにその思考の流れについて考察します。

経営系列



合力 知工 教授

担当科目
「経営戦略論」「企業戦略論」

「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」と言われ、中でも一番大切なのが「考え方」であるとされています。経営戦略論では、この「考え方」について学びます。また、企業戦略論では「人を大切に作る経営」について、特に、コーチングを通じてリーダーシップを通じて学んでいきます。



福山 博文 教授

担当科目
「オペレーションズリサーチ」「商学のための数学」「商学のための統計学」

オペレーションズリサーチ(略してOR)は、経営・政策上で生じた問題を科学的に解決する方法や、合理的な意思決定をするための理論と方法を研究する学問領域です。問題が生じた場合、企業の経営者は、さまざまな代替案に、あらかじめ決められた選考基準に基づき順序をつけます。そこで、問題の根本にある法則を数式などで表現し、理論を展開していくことにより明確で合理的な解答を見出すための基礎を与えてくれるのがORです。



藤野 真 准教授

担当科目
「経営管理論」「クリエイティブ社会論」

経営管理論は、企業が価値あるものを作り出すための全社的な管理の制度や方法を学ぶ科目です。managementとは「やりくりする」という意味を持っています。経営管理論では、外部環境や内部環境(企業内部)の制約を所与のものとして、「うまくやりくり」することを考えていきたいと思います。



和田 剛明 准教授

担当科目
「生産管理論」

生産管理論は、「ものづくりのマネジメント」について考える学問です。料理を例にすると、料理を作る腕前があっても、適切なレシピ・材料・道具がそろってなかったり、冷めないうちに届けることができなかったりすれば台無しになります。ものづくり全般においても、生産活動に加え、それに関連する設計・開発、原材料調達、流通などを含めた活動全体が重要であり、本授業ではその効率化の方法について解説します。



樋口 あゆみ 講師

担当科目
「中小企業論」

中小企業は、その規模や多様性という制約からメディアなどで取り上げられにくい存在です。大企業と比べ、身近にあると気がつきにくい存在ですが、企業数も、またそこで働く人々も大多数は中小企業に含まれます。そうした企業側をどのように観察したり、データをまとめたりすればいいのかや、そういった存在が大企業に負けないようにどのように経営していけばいいのかを学びます。とりわけ、データを読み自分なりに考え、それを言葉にする訓練を重視しています。

教員育成プログラム



田中 靖人 特任教授

担当科目 「特別講義A(教員育成入門)」「特別ゼミナールA(教員育成基礎)」「特別ゼミナールB(教員実力養成)」「商業科教法I・II」等

商学部(商学科・経営学科)ならびに商学部第二部では、商業と情報の複数の高校教員一種免許が取得可能です。本プログラムは、本学卒業と同時に生涯に生かすことのできるこのライセンスを獲得し、



中川 誠士 教授

担当科目
「経営労務論」「ヒューマンリソースマネジメント」「経営学総論」

経営労務論では、企業における従業員対策を、企業が追求する目的との関連で、経済学的に考察します。ヒューマンリソースマネジメントでは、企業における従業員対策を、新しい従業員観と経営戦略の観点から、捉え直します。経営学総論では、企業と経営についての、基礎的な知識や考え方について学びます。



河瀬 宏則 准教授

担当科目
「経営財務論」

経営財務論は「カネのマネジメント」に関する科目です。カネの側面から企業の価値をいかに高めるかについて議論します。小規模のビジネス展開だけでなく自己資金だけでも十分かもしれません。しかしビジネスを大きく展開させるためには、資金を提供してくれる投資家の力が必要です。投資家はどのような期待をし、資金を提供するのでしょうか。一方で経営者はどのような期待に応えなくてはならないのでしょうか。経営財務論はこうした観点から投資プロジェクト、資本構成、配当政策などのテーマについて考えていきます。



森田 泰暢 准教授

担当科目
「経営組織論」

学校、部活動、サークル、委員会など学生の皆さんの周りにもさまざまな組織があります。本授業ではその中でも企業の組織を主に扱います。ひとりでは不可能なことを成し遂げるために組織を作りますが、ではその力を最大化するにはどうすればよいでしょうか。そのような問いについて研究されてきたさまざまな理論を紹介し、関連する事例と併せながら、組織に関する分析的な視点を身に付ける授業です。



大上 麻海 講師

担当科目
「経営心理学」

経営心理学は組織の中の人の心理について学ぶ科目です。ただし心理学の視点のみでなく、人の心理が組織の管理にどのように影響しているのかという経営学の視点も用いて学んでいきます。モチベーション、リーダーシップ、愛着精神、不公平感など働く際に人間が持つ心理を学術的に理解した上で、最終的に組織の中で協力して働くとはどういうことかについて考えを深めていきます。

貿易学科

九州・福岡からアジア・世界へグローバルに活躍する人材となるために。

「高度なビジネス英語の力を身に付け仕事に生かしたい」「貿易や金融などの国際ビジネスの場で実力を発揮したい」「九州と世界をつなぐ仕事をしてみたい」「アジアをはじめとする途上国の経済発展に貢献したい」。

本学科ではそのような目標を持つ学生たちへ、専門的な学びと実践的な英語教育を4年間を通じて提供。

実務につながるスキルを身に付け、世界を舞台に活躍できる人材を育成します。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 貿易実務検定
- 通関士 など

福岡大学 商学部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

A 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、商学・国際貿易を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B 技能	学習や課外活動での経験によって、他者とのコミュニケーションがとれる人
C 態度・志向性	国際感覚を持ったビジネスリーダーを目指し、地域と世界をつなぐことによって社会に貢献したいと考えている人
D その他の能力・資質	自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

求める人材像(求める能力)の詳細は



貿易学科での4年間

1年次

貿易を学ぶ基礎を固める

「貿易入門A・B」「ビジネス英会話初級」「貿易基礎ゼミナール」「ステップアップゼミナール」の他、流通・金融・経営・会計の各入門科目の学びから、貿易を専門的に学ぶ基礎を固める。

2/3年次

貿易に関する、より高度な専門知識を4領域6分野から修得する

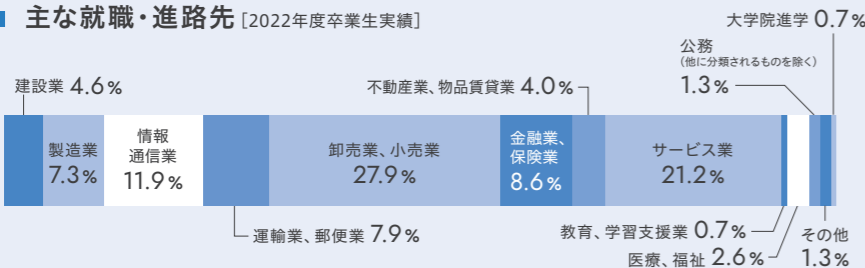
貿易実務・ビジネス英語領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貿易実務分野: 実際の貿易に必須の専門知識を学ぶ。 ■ ビジネス英語分野: ビジネスの現場で使える英語を身につける。
国際ビジネス領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際ビジネス分野: 国際的なマーケティング・経営・会計を学ぶ。
貿易論・国際金融領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貿易論分野: 貿易の理論や歴史、政策などを学ぶ。 ■ 国際金融分野: 国際金融の理論と仕組みを学ぶ。
各国・地域経済領域	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各国・地域経済分野: 日本やアジア、欧米の経済を学ぶ。

4年次

卒業論文で学びを集大成する

それまでのゼミでの研究成果を卒業論文にまとめ、4年間の集大成とする。

主な就職・進路先 [2022年度卒業生実績]



● 商学部の主な就職先は [36ページ](#) >

在学生の声

貿易を通じて世界情勢や社会問題を捉え、自分ごととして考えられるようになった。

Q1 この学科の魅力は？

当たり前存在する品物がどのようにして自分のもとまで届いているのかを学ぶことで、世界情勢や社会問題を身近に感じられます。ゼミでは、フェアトレード(公正な貿易)についての市場調査を実施しました。実際にフェアトレード商品を取り扱っている店舗でリサーチしながら学んだことで、貿易を“自分ごと”として考えられるようになりました。

Q2 好きな授業は？

「ソーシャル・イノベーション」をキーワードに、グループでディスカッションする「特別講義F」という授業です。毎回答えないテーマで自由に発想し、グループ内で共有します。自分一人では思い付かないアイデアに出合えてとても刺激的な授業です。積極的な発言が苦手だった私も、周りに触発され、意見を口にできるようになりました。

時間割 [3年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40		商業史入門		特別講義F	
13:00	貿易商務論B	外書講義BⅡ		生活保障論	
14:40	税法ⅠB	3年専門ゼミナールⅡ		海上保険論B	
16:20	国際企業論	金融政策論		地誌学	

その他カリキュラムの詳細は >



樋口 春香 さん

商学部 貿易学科 3年次生
福岡県 福岡西陵高校出身

※2022年取材時の情報です。

卒業生の声

貿易実務を専門的に学べる学科は希少。試験に合格し、憧れの「通関士」の道へ。

国内で生産した半導体や自動車部品、生鮮食品などを輸出する際に必要な通関手続きを代行する「通関士」として働いています。

もともと通関士になるのが夢で、在学中は貿易取引に関わる知識を習得できる講義を数多く受講しました。「ビジネスコミュニケーション」「貿易商務論」の授業では、必要書類の作成や国際取引のルールを学びました。物流業界で仕事をしていた先生の講義はより実務的で、学生でありながら働くイメージを持ってたと思います。

1年次には、貿易事務の基礎知識を身に付けるために「貿易実務検定C級」を取得。2年次には通関士試験に向けた勉強を始め、4年次で無事に合格できました。「貿易」に特化した学科は全国的にも少な

く貴重だと思います。国際情勢やビジネスに必要な英語能力も養えるので、グローバルな活躍も視野に入れながら勉強することができます。



日高 花菜 さん (2022年卒業)

株式会社九州日新 航空部 航空通関課

※2022年取材時の情報です。

貿易学科を理解する5つのポイント

01

ビジネスを理解できる国際人を育成するための充実した教育

経済とビジネスのグローバル化は私たちの足もとから地球の隅々まで及びその担い手と経路も多様です。貿易学科は、グローバルな視点で判断し、行動できる国際人になるための充実した科目群を提供します。

貿易学科の主要科目は、4つの領域と6つの分野に分かれており、ビジネスを理解できる国際人の育成を目指しています。

関連する科目(抜粋)

貿易商務論A・B / ビジネスコミュニケーション実務初級・上級 / 国際貿易論I・II / 国際金融論I・II



国際社会の“今”を読み解くための基礎教育

貿易基礎ゼミナールでは基礎的な資料を教材に、国際社会への関心と理解を深める学びを提供。さまざまな資料や文献を読んで、レポートや論文を作成するための読解力や文章を書く力の向上にも取り組みます。ステップアップゼミナールでは、グループ活動や入門書の輪読などを通してさらに貿易学科で学ぶために必要なスキルを高めます。

貿易学科での学びを全般的に紹介し、基礎知識を修得するための科目として貿易入門A・Bが設けられており、貿易理論の基礎や地球規模の課題について問題関心を広げることができます。

関連する科目(抜粋)

貿易基礎ゼミナール / ステップアップゼミナール / 貿易入門A・B



02

ネイティブスピーカーによる実践的なビジネス英語教育

ネイティブスピーカーが、「読む・書く・聴く・話す」の英語4技能を少人数制の授業で教育。4年間を通じてじっくりと訓練に取り組み、国際ビジネスの場で通用する高度な英語能力を身に付けます。

1年次に履修できるビジネス英会話初級でまず基礎力をつけます。そして、英語の経済新聞や雑誌などを読みこなせるように、各種の外書講読科目の受講が推奨され、インターネット上のビジネス記事も深く理解できるようになっていきます。

関連する科目(抜粋)

ビジネス英会話初級 / ビジネス英会話中級 / ビジネス英会話上級 / 外書講読IA・IB / 外書講読IIA・IIB / 外書講読上級A・B



03

国際ビジネスの実際に迫る専門教育

グローバル企業を研究するゼミや貿易のプロから学ぶ特別講義など、国際ビジネスの実際に迫る科目を広く展開。自身の専門知識や能力の生かし方を含め、卒業後の進路選択につながります。

例えば、貿易実務を学ぶなら、貿易商務論、ビジネスコミュニケーション実務初級・上級などを学んだ後、実務経験豊富な教員が担当する国際物流論や海上保険論などを修得することができます。そして、国際貿易論や国際金融論で修得した知識や考え方を踏まえて、貿易政策や国際政治経済学を学んで理解を深めることもできます。また、国際協力論など「開発学」の科目によって途上国の課題について学ぶことができます。

関連する科目(抜粋)

貿易政策 / 国際政治経済学 / アジア経済論A・B / アメリカ経済論I・II / ヨーロッパ経済論I・II / グローバル企業論 / 国際物流論A・B / 海上保険論A・B / 開発経済論A・B / 国際協力論A・B



4年間を通じた少人数制のゼミ

少人数制のゼミナールを4年間配置。国際経験豊かな専任教員が担当します。少人数での活発な議論を通じて、視野を広げることができます。

1年次では、貿易基礎ゼミナールとステップアップゼミナールで貿易を学ぶ基礎力を身に付けることができます。また、2年次後期からはじまる2年半の専門ゼミナールによる研究で問題意識をさらに掘り下げます。4年次には論文ゼミナールで卒業論文の作成に取り組み、4年間の学びの成果をまとめます。

関連する科目(抜粋)

貿易基礎ゼミナール / ステップアップゼミナール / 2年専門ゼミナール / 3年専門ゼミナールI・II / 論文ゼミナール



TOPICS

学科の取り組み

さまざまな人や社会とつながるゼミ活動

国内外と人やモノが行き来する拠点として、大きく発展している博多港と福岡空港。コロナ禍の前ですが、最前線の業務の拠点をゼミで訪問し、大学で学んだ貿易実務を肌で感じることができました。コロナ禍でもゼミ活動は積極的に行っています。2022年度は、貿易学科の複数のゼミが、オンラインで開催された全国規模のゼミ大会に参加。貿易や世界経済に関する論文を事前に作成して、各地の大学の学生と討論し、交流しました。



博多港の概要を学ぶ学生

教員の紹介

※2023年4月1日現在



アケミ キュチュクアリ 教授

担当科目 「アジア経済論B」
「開発経済論B」

現代の発展途上国は、先進国の技術的・経済的優位性に追いつくことが困難になっています。東アジアの発展途上国を中心に、後発性の社会的・歴史的・経済学的な原因と発展途上国の福祉を向上させるための重要な政策について講義します。特に、工業化メカニズムと産業政策に焦点を当て、その背景にある制度と政治経済について検討します。



伊豆 久 教授

担当科目 「国際金融論I」
「国際金融論II」

国境を越えておカネをやりとりする…そのことにはどんな意味があるのでしょうか。日常生活の中ではなかなか意識しづらいですね。ですが、金融は私たちの生活にとても大きな影響を与えています。金融というレンズを通して、私たちが生きる現代社会の特徴・課題を考えたいと思います。



掛下 達郎 教授

担当科目 「アメリカ経済論I」
「アメリカ経済論II」

現在の日本経済を語るには、アメリカ経済を理解することが重要です。通常、アメリカ経済は自由競争の側面が紹介されています。講義では、自由競争を支える消費社会、軍需産業、福祉国家と貿易政策を取り上げます。なるべくビデオ、写真、図表を使って皆さんの頭の中に具体的なイメージが湧くようにしてみます。本講義全体から、経済学の有効性と限界を感じてもらえたら有難いと考えています。



木幡 伸二 教授

担当科目 「開発経済論A」
「アジア経済論A」

開発経済論は、開発途上国はどのようにしたら発展できるのか、について考える学問です。開発経済論Aでは、経済発展のための基礎理論と課題解決のための政策について学びます。アジア経済論Aでは、開発経済学の視点からアジアで最も重要な存在となった中国のさまざまな課題について検討します。



松永 達 教授

担当科目 「国際貿易論I」
「国際貿易論II」

国際貿易論Iでは、国際貿易に関する基礎理論を把握した上で、自由貿易の帰結と現実の貿易構造の変化を学びます。国際貿易論IIでは、国家による通商政策と、それがもたらす帰結や国家間の対立と協調について学びます。そして、サービス貿易、対外投資、知的財産権といった新たな領域が通商政策において重視されるようになったことや、特定国の間での協定の増大についても学びます。



山本 和人 教授

担当科目 「世界経済論」
「貿易政策」

第二次大戦を契機に形成された「多国間主義」に基づく貿易システム(GATTやWTOに結実)の形成・展開・変貌を追うことで、私たちが生きているグローバリゼーションの時代について考えます。



豊 嘉哲 教授

担当科目 「ヨーロッパ経済論I」
「ヨーロッパ経済論II」

ヨーロッパ経済論をEU経済論として開講します。EUとは欧州27か国の集まりであり、それらは一部の法律や制度を共有しています。このうち20か国はユーロと呼ばれる共通のお金を使い、各国独自のお金を持っていません。またあなたがEU加盟国間を移動するとき、一部の例外を除いて国境でチェックされることはありません。このような独特のまとまりであるEUの経済現象や経済政策を説明します。



岡 陽子 准教授

担当科目 「貿易商務論」
「ビジネスコミュニケーション実務初級」

貿易商務論では、国際貿易における各国の政策、企業の思惑、消費者にとっての便益など、ステークホルダーそれぞれの視点から様々な事象を観察し、私たちの住む社会への直接そして間接的な影響を学びます。ビジネスコミュニケーションでは貿易に必要な実務知識および国際ビジネスにおけるコミュニケーションについて、ロールプレイングなどを行いながら学んでいきます。



林 裕 准教授

担当科目 「国際協力論A」
「国際協力論B」

国際協力論では、世界の開発、戦争と平和、貧困や格差、グローバリゼーションの功罪など、現代世界で起きていること、そしてその中にいる私たちを取り上げています。「楽(らく)」ではありませんが、そこから学ぶことの「楽しさ」を知り、世界と私たちに関する視角を育んでほしいと思っています。



ヤング, シャーリー 講師

担当科目 「ビジネス英会話初級」「ビジネス英会話中級I・II」
「ビジネス英会話上級I・II」「貿易特別講義C・D」

私の担当科目の目的は、ビジネス環境における英語でのコミュニケーション能力の育成です。個性豊かに、身振りや手振りも交えて英語で表現することを学ぶ授業は、皆さんに自信と勇気を与えてくれるに違いありません。また、貿易特別講義はタイの大学との交流プログラムであり、英語でパートナーと一対一で話します。実際に英語を使う練習ができますので、大きな自信になります。



ポープ, クリス 講師

担当科目 「国際政治経済学」
「貿易特別講義B」

既存の国際通貨制度は、永遠に続くと思いがちですが、それは事実と全く異なります。さらに、これらの制度が変わると、我々の国際政治経済体制があつという間に根こそぎ再形成されてしまいます。これらの発展について学ぶことは、豊かで平和な未来に貢献したい若者にとって大きなチャンスですから、国際政治経済の画期的な変化を取り上げていきます。

商学部第二部

〔夜間部〕

確かな目的がある。
世代を超えた交流がある。

- 1 時間を有効に使える
授業体制
- 2 家計負担の少ない学費と
商学部第二部独自の
奨学金制度
- 3 会計専門職プログラムで
ハイレベルの資格取得
- 4 高校商業・情報科教員
育成プログラム設置
- 5 サークル活動や
学内施設利用が可能
- 6 学生支援ワークスタディで
「学内で働きながら通学」

Message | 第二部主事メッセージ

伝統と革新

——夜間部という特性を生かして、唯一無二の存在を目指す——



第二部主事 **長束 航** NAGATSUKA Wataru

商学部第二部は、福岡大学の中では商学部(昼間部)に次いで古い学部であり、設立されたのは1953年(昭和28年)のことです。以来約70年にわたって、特に働きながら学ぶ真剣で意欲のある学生たちに勉学の機会を提供してきました。1万3,000人以上にも及ぶ卒業生がさまざまな分野で活躍し、特に地元九州・福岡の経済と社会を支える人材として大きな貢献を果たしています。

しかし、近年ではそのような伝統を受け継ぎつつも、①アドミッション(入学者の選抜)・②カリキュラム(在学生の教育)・③ディプロマ(卒業生の質の保証とそれによる社会的評価の向上)という三つの観点から、革新的な取り組みを積極的に実施しています。

まず、①アドミッションの観点からは、従来どおり比較的低廉な学費を維持しつつ、商学部第二部独自の奨学金やワークスタディ制度を充実させることにより、高い能力を有しながら家計の事情等で大学進学が困難な学生を数多く受け入れています。

また、②カリキュラムおよび③ディプロマという観点からは、会計

専門職プログラムやクリエイティブ・マネジメント・プログラムなどの斬新な専門教育プログラムを導入するとともに、商学部が誇る伝統的教育手法であるゼミナール教育を必修化し、全ての卒業生が専門性とコミュニケーション能力を兼ね備えた人材であることを大学として保証しています。これに加えて、昼間に数多くの授業を受けなくてはならない昼間部の学生では参加が困難な、商学部第二部独自の中期・長期インターンシップへの参加を可能にし、実務における役立ちを意識して学修を行った卒業生を数多く輩出することを目指しています。

近年では夜間部の縮小・廃止を行った大学が多く、本学の商学部第二部ほどの規模を誇る夜間部は、西日本では他に存在しません。商学部第二部は、上述のような夜間部という特性を生かした革新的取り組みを行うことによって唯一無二の存在となり、社会から従来の評価を凌駕する高評価を勝ち取って「日本一の夜間部」となることを目指しているのです。

商学部第二部 商学科

働きながら学ぶ。
 学びをすぐに実践に生かせる。
 その積み重ねが、
 キャリアアップにつながっていく。

商学部第二部には、高校を卒業したばかりの学生はもちろん、昼間は社会人として働いている人など、多様な人々が共に学んでいます。その目標は「自分を磨いてキャリアアップしたい」や「資格を取得したい」、「大学院に進学したい」、「学費を考慮して」など明確であり、誰もが高い向学心を持っているのが大きな特色です。それだけに授業に取り組む姿勢は常に意欲的です。また境遇や年齢が異なるクラスメートとの触れ合いが、視野を広げ価値観を磨いてくれます。自立した学生生活を目指す人、1日24時間、時間を有意義に使いたい人は商学部第二部へ。その熱い思いを私たちは強くサポートします。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 中小企業診断士
- 税理士
- 公認会計士
- 簿記検定
- 情報処理技術者
- ファイナンシャルプランナー
- 証券アナリスト など

福岡大学 商学部第二部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、商学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技能	学習や課外活動から得た経験やデータについて論理的に説明しようとする習慣を身につけている人
C	態度・志向性	経済社会の現実の諸問題の解決能力を身につけ、将来、地域経済のリーダーとなる意欲に溢れる人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人およびキャリア・アップを目指す社会人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



第二部商学科での4年間

1年次

基礎ゼミナールで 学びの土台を形成

レポート作成法や資料・文献からの情報利用法など、大学で商学を学ぶための導入教育を実施。



2 / 3 / 4年次

専門的な学びを進め、ゼミナールで深い議論を

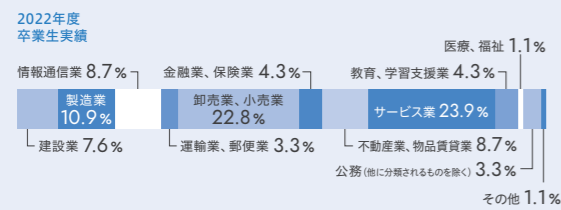
流通・金融 モノ・お金・情報の流れや交通・保険等を現実から学び、諸問題の解決能力を身に付ける。

会計 企業の現状を会計面から把握、経営陣や利害関係者に諸情報を提供するための実務を学ぶ。

経営 企業経営のメカニズムを学びつつ、マネジメントやリーダーシップなどの実践的能力を高める。



主な就職・進路先 [2022年度卒業生実績]



[就職先の例 2020年度~2022年度]

- | | | |
|--|--|--|
| 建設業 <ul style="list-style-type: none"> ● 大和ハウス工業(株) ● (株)九電工 | 卸売業、小売業 <ul style="list-style-type: none"> ● ヤンマーアグリジャパン(株) ● エフコープ生活協同組合 | 学術研究、専門・技術サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ● EY新日本有限責任監査法人 |
| 製造業 <ul style="list-style-type: none"> ● 山崎製パン(株) ● アイリスオーヤマ(株) ● (株)三井ハイテック | 金融業、保険業 <ul style="list-style-type: none"> ● (株)福岡銀行 ● 楽天銀行(株) ● 損害保険ジャパン(株) | 教育、学習支援業 <ul style="list-style-type: none"> ● 福岡県教員(高校) |
| 情報通信業 <ul style="list-style-type: none"> ● (株)ミロク情報サービス ● メディアファイブ(株) ● (株)QTnet | 不動産業、物品賃貸業 <ul style="list-style-type: none"> ● 住友不動産販売(株) | サービス業(他に分類されないもの) <ul style="list-style-type: none"> ● 福岡県商工会連合会 |
| | | 公務(他に分類されるものを除く) <ul style="list-style-type: none"> ● 国家公務員一般職 ● 福岡市役所 ● 長崎県警察本部 |

在学生の声

商学の実践的な演習を通じて エンタメ産業を支える担い手になる。

Q1 この学科の魅力は？

授業が夜間にあるので、昼間の時間を使って、学生それぞれが自分のために時間を活用しています。私は、「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」に所属して、商学の観点からゲーム産業をはじめとするクリエイティブ活動の運営や管理について実践的に学んでいます。さまざまな企画を主催して、実行力や管理能力が成長したと実感しています。

Q2 好きな授業は？

「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」内の授業、「クリエイティブ・マネジメント演習I」です。グループに分かれてボードゲームを企画考案し、商品として販売します。「いかにして利益を出すか」「どう作ればお客さまに喜んでもらえるか」など、販売する立場になって初めて得られた学びが多くありました。また、商品開発を通じてチーム内でのコミュニケーションの大切さも実感できました。



塩塚 歳さん

商学部第二部 商学科 3年次生
 沖縄県 N高校出身

※2022年取材時の情報です。

🕒 時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
16:20				社会学A	
18:00	日本文学A	宗教学A	経営ゼミナールA	マーケティング戦略論	インターメディアティブ・イングリッシュII
19:40	文化人類学A	インターメディアティブ・イングリッシュI	情報産業論	経営組織論	経営管理論

📄 其他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

1年次から資格取得に向けて挑戦。 夢を実現する環境がここにはある。

公認会計士として、クライアントの上場支援業務をメインで担当しています。

公認会計士を目指す上でサポートが充実していること、昼間を活用して夢の実現に近づけると思い、本学科の進学を決めました。資格取得に向け、1年次から資格試験対策に注力。3年次に合格しました。

ゼミの先生に教えていただいた「3C(チャンス・チャレンジ・チェンジ)」の言葉は今でもよく覚えています。「チャンスは減ってくるものではない」「チャンスが来てもチャレンジしなければ成果はない」「現状維持ではいつか後退してしまうため、チェンジを追求しなければならない」という意味です。社

会人として働く今もこの言葉を胸に、チャンスがあればチャレンジするように心掛けている結果、より多くの経験が得られていると感じます。



江藤 李樹さん(2020年卒業)

有限責任監査法人トーマツ 福岡事務所
 TS・開発

※2022年取材時の情報です。

第二部商学科を理解する5つのポイント

01

リーズナブルな学費と充実した奨学制度

商学部(昼間部)と比較して約半分の学費で大学に通うことができます。また、卒業生の寄附等を財源とした商学部第二部独自の奨学制度(返還不要の奨学金)も設けられていますので、ヤル気と努力次第でほとんど自己負担なしで大学を卒業することも可能です。

大学内で働きながら学びたい学生を支援する「学生支援ワークスタディ制度」も設置されています。



詳細は商学部ウェブサイトへ >



02

広範な分野を網羅した最新のカリキュラム

学費は安いですが、商学部(昼間部)に設置されているほとんどの授業科目が第二部でも履修できるようになっています。また、2021年度からカリキュラム改正を行って少人数のゼミナール教育を充実させ、リーダーシップやプレゼンテーション能力の修得の強化を図っています。



03

時間を効率的・効果的に活用

授業時間は原則として月曜～金曜の夜間(1限:18時～19時30分、2限:19時40分～21時10分)に行われるため、平日の昼や土日・祝日を有効に活用して、特別な学修やインターンシップへの参加を行うことも可能です。商学部(昼間部)の講義を履修することもできます(40単位まで)。



04

ハイレベルな資格取得やクリエイティブな能力の修得に特化したプログラム

特定分野についてより深く学修し、資格取得や能力向上に導く下記のプログラムを履修することも可能です(ただし、履修するためには選考に合格する必要があります)。

- 会計専門職プログラム
- クリエイティブ・マネジメント・プログラム
- 高校商業・情報科教員育成プログラム



05

意識の高い社会人との革新的コラボレーション・プログラム

新たな学び直しの機会を求める社会人と、商学部第二部の学生の中から選ばれた勉学意欲の高い学生が、1つのゼミナールで切磋琢磨しながら課題解決型学修にチャレンジする「地域ビジネスデザインプログラム」が2021年度入学生からスタートしました。地域企業が実際に抱える課題に基づいて作られたビジネスケースを用い、リサーチとディスカッションを通じて、高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付けることを目指します。



社会人向けコース履修制度

仕事と勉強を両立しやすい環境で ビジネス・マネジメントを学び キャリアアップを目指す。

商学部第二部では、会社員、公務員、中間管理職、経営者、熟年層等の社会人を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる2種類の「社会人向けコース履修制度」を開設しています。学習の成果は試験によって評価され、合格者には大学の単位が認定されます。

本コースの講義は、社会人向けコース履修生だけを対象にしたものではなく、通常の第二部学生向けに設置されている科目を、第二部学生と共に受講する形式をとっています。

コース修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書(社会人向けコース修了証)を授与します。



ビジネス・マネジメント基礎コース

幅広いビジネス関係の専門科目を自由に組み合わせて学ぶ

企業経営に関する科目を中心に、会計学、金融、情報、マーケティング、グローバル経済等について体系的に幅広く学修する機会を求める社会人のためのコース。商学部第二部で開講されている専門科目の大部分から選択して履修することができるので、各自の多種多様な問題意識に合わせて自由に受講する科目を決めることができます。ただし、ゼミナールは履修することができません。

地域ビジネスデザインコース

「ビジネスデザインゼミナール」でビジネス課題の発見力・解決力を向上させる

ビジネス実務に現在携わっており、企業経営や事業開発に関する知識の更新とそれらの知識を応用した分析力と提案力を高める機会を求める社会人のためのコース。中心となる科目は、本コース履修者と学修意欲の高い商学部第二部の学生で構成される「ビジネスデザインゼミナール」。ビジネスケースを用いて課題の発見・解決を徹底的に討論します。討論の前提知識を共有するために、本コース履修者全員が一定の専門科目群を履修します。

2023年度募集概要

募集人員 30人程度

出願資格 次の①、②いずれかに該当し、かつ2023年3月31日現在で満21歳以上であること
① 高等学校を卒業した者
② 高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者

選考方法 書類選考と面接

修了年限 1年

授業期間 2023年4月～7月
2023年9月～2024年1月

授業日と時間 授業期間中の月～金
1限目(18:00～19:30)
2限目(19:40～21:10)

問い合わせ先 福岡大学 商学部第二部事務課
☎ 092-871-6631(代表)
(内線:2547)

会計専門職プログラム

在学中に公認会計士、税理士などの
資格試験合格を目指す
福岡大学独自の
会計プロフェッショナル養成プログラム。

入学試験 20人 経営学科 第二部	1・2年次に商学部内部から選抜 25人 商学科 経営学科 貿易学科 第二部
会計専門職プログラム ● 会計学を中心とした専門科目群 ● 専門学校との提携による徹底的な実践教育	
公認会計士 ■ 公認会計士 ■ 税理士 ■ 国税専門官 ■ 経理のプロとして大企業に就職 ■ 大学院へ推薦入学	

福岡大学 商学部
会計専門職プログラム Webサイト



会計・財務関連業務の多様化やグローバル化に伴い、社会からは、高度な専門能力をもった会計専門家が求められています。この社会的ニーズに応えるために商学部および商学部第二部に設置されている「会計専門職プログラム」は、在学中に公認会計士・税理士などのハイレベルな資格試験に合格することを目指すプログラムです。過去5年間で29人が公認会計士試験に合格するなど、大きな実績を挙げています。

最大の特長は、公認会計士試験合格実績第1位の専門学校TACとの提携による公認会計士試験受験対策講座を無料で受講

できること。ダブル・スクールの費用負担がありません。その他にも、本プログラム生のみを対象とした基礎ゼミナールなど、合格をアシストする仕組みが整えられています。このようなフル・サポート体制で難関資格試験合格が目指せるのは、全国でも本学の会計専門職プログラムだけです。

商学部伝統の会計学専門科目群と少人数のゼミナール教育。これに公認会計士試験受験対策講座を加えて理論と実践の両面から徹底的な会計教育を行い、「会計のプロフェッショナル」を育成します。

会計専門職プログラムでの4年間

1年次	2年次	3/4年次	卒業後
公認会計士試験受験対策講座			会計の プロフェッショナルへ [将来の進路] ■ 公認会計士 ■ 税理士 ■ 国税専門官 ■ 経理のプロとして大企業に就職 ■ 大学院へ推薦入学
<p>初學者でも学べるように簿記の入門から始め、会計の基礎を固めるとともに、教養を深める。</p>	<p>「資格の学び」が中心となる学習スタイルに移行。</p>	<p>少人数制のゼミナールで論理的思考力やコミュニケーション力も高める。</p>	

公認会計士試験合格実績 ※試験年度別合格者(2023年3月31日現在) ※過去7年間

年度	短答式試験				合計	論文式試験				合計
	2年次	3年次	4年次	卒業後		2年次	3年次	4年次	卒業後	
2016年度		1	2		3			2		2
2017年度	4	5	4		13		1		2	3
2018年度	5	1	2	4	12	1	1	2	6	10
2019年度	3		1	1	5		1	2	2	5
2020年度	1	2	3	1	7		2	1	3	6
2021年度		3		3	6		1		3	4
2022年度	2	2	1	3	8		1		3	4
合計	15	14	13	12	54	1	7	7	19	34



在学生の声

充実した学習環境と試験対策。
独自の養成プログラムで、会計のプロを目指す。

Q1 この学科の魅力は？

税理士や公認会計士を目指すための充実したサポートが受けられるのが魅力です。資格を持つ先生方や自習室などの学習環境が整っているため安心感があります。何より、提携している専門学校に自己負担なく通うことができ、目指す進路の実現に向けて一直線に進むことができます。

Q2 好きな授業は？

公認会計士試験対策のための「2年基礎ゼミナール」です。最初の1時間で対策問題を解いた後、数人ごとにグループを作ってディスカッションをします。互いに答え合わせをすることによって全体で成長を実感できるほか、問題に対してどのようにアプローチすれば良かったのか、自分にはない発想を知ることによって理解が深まります。



小塚 柁和 さん

商学部 経営学科 会計専門職プログラム 2年次生
大分県 大分上野丘高校出身

※2022年取材時の情報です。

時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00				ミクロの生物科学	心理学A
10:40	監査論				
13:00		国際会計論		税と生活	
14:40	インターメディアイト・イングリッシュI				宗教学A
16:20		2年基礎ゼミナール		インターメディアイト・イングリッシュII	

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

知識とコミュニケーション能力を養い
目標にしていた「自分」に近づけた。

公認会計士として、会計監査を担当しています。主な業務は、会社が作成した財務諸表が適切に作成されているかの確認業務などです。

会計の専門的な知識はもちろん大切ですが、それ以上に、いかにしてその知識や情報を分かりやすく相手に伝えられるかが重要になります。こうした「伝える力」は、大学時代のゼミ活動で培われました。OBの先輩方や先生の知人など、年上の方と話す機会が多かったため、社会に出た後も臆することなく、幅広い年代の相手とコミュニケーションを取れているのだと感じています。

勉学だけでなく、仕事に求められるコミュニケーション能力も学生時代に養えたことは、自分にとって大きな財産となっています。「会計専門職プロ

ラム」に入り公認会計士になったことで、目標である「会計がわかる経営人、経営がわかる会計士」に近づくことができました。



りょうすけ
砥綿 涼丞 さん (2019年卒業)

有限責任監査法人トーマツ 福岡事務所

※2022年取材時の情報です。

会計専門職プログラムを理解する 5つのポイント

01

在学中に公認会計士試験への合格を目指す

在学中に公認会計士や税理士などの難関資格試験に合格し、会計・財務のスペシャリストとなることを目指します。会計・財務関連業務の多様化やグローバル化に対応するとともに、グローバル創業・雇用創出特区として発展しつつある福岡において、企業経営や地域経済社会の成長を支える人材を育成します。



02

特別な学費が一切不要

商学部・商学部第二部の学費のみで、トップクラスの公認会計士試験合格実績を誇る専門学校との提携により開講する公認会計士試験受験対策講座が受講可能です。ダブル・スクールの費用負担なく公認会計士を目指すことができます。一定の条件を満たせば、税理士試験や日商簿記検定試験1級を受験するための講座も受講することができます。



03

公認会計士試験合格教員が直接指導

会計専門職プログラムの学生のみが受講できる少人数のゼミナールが開講されます。このゼミナールにおいて、公認会計士試験に合格し受験指導のプロである専任教員が、受験の心構えや学修への取り組み方から具体的な専門的知識の提供まで指導を行い、難関資格試験合格へ導きます。



04

合格に導くフルサポート

学内に会計専門職プログラムの学生専用自習室が完備されている他、資格試験合格を単位認定するなど、大学生活と両立して難関資格試験受験に取り組むための仕組みが充実しています。公認会計士試験受験対策講座も、大学の定期試験などの行事を考慮して日程が組まれています。



05

頼もしい合格実績

これまで公認会計士試験の短答式試験に63人（うち在学中51人）、論文式試験に40人（うち在学中21人）が合格するなど、着実に合格実績を積み上げています（P.24参照）。



教育プログラム

実践的なプログラムやゼミナールで学生の成長をサポート。

商学部および商学部第二部では商学部での学びに加えて、学生の専門性の向上や可能性の拡充を目的に少人数の特別なプログラムやゼミナールを設置しています。

- 高校商業・情報科教員育成プログラム
- クリエイティブ・マネジメント・プログラム
- 地域ビジネスデザインプログラム
- 海外交流ゼミナール

Message | メッセージ

プログラムを通じて グローバルな分野で活躍する人材を育成



商学部長 中川 誠士 NAKAGAWA Seishi

商学部および商学部第二部では、高校・商業情報科教員育成プログラム、クリエイティブ・マネジメント・プログラム、地域ビジネスデザインプログラム、海外交流ゼミナールといった少人数の実践的なプログラムやゼミナールを設置しています。

高校・商業情報科教員育成プログラムでは、商業・情報分野の教員採用試験に合格するための専門的な知識と技能を身につけることができます。クリエイティブ・マネジメント・プログラムでは、クリエイティブ産業におけるプロデュースやディレクションの能力を培います。地域ビジネスデザインプログラムでは、地域社会の課題解決に貢献できる実践力を養います。海外交流ゼミナールでは、海外の

大学への訪問やそこでの研修を通じてグローバルな視野を養うことができます。

本学部はこうした教育プログラムやゼミナールを通じて、みなさんの成長をサポートし、商学分野の高度な専門的知識と幅広い視野を備え、地域社会と国際社会に貢献できるグローバルな人材を育成することを目指しています。

みなさんがこれらのプログラムやゼミナールに参加することで、社会で活躍できる人材に成長することを心から期待するとともに、みなさんの積極的な参加を願ってやみません。

高校商業・情報科教員育成プログラム



商学部(商学科・経営学科)および商学部第二部では、商業科と情報科の複数免許の取得が可能です。卒業と同時にマルチスキルを持った教員としてデビューしてみませんか。

高校商業・情報科教員育成プログラム

教員としての
人格形成

即戦力の
教員を
めざして

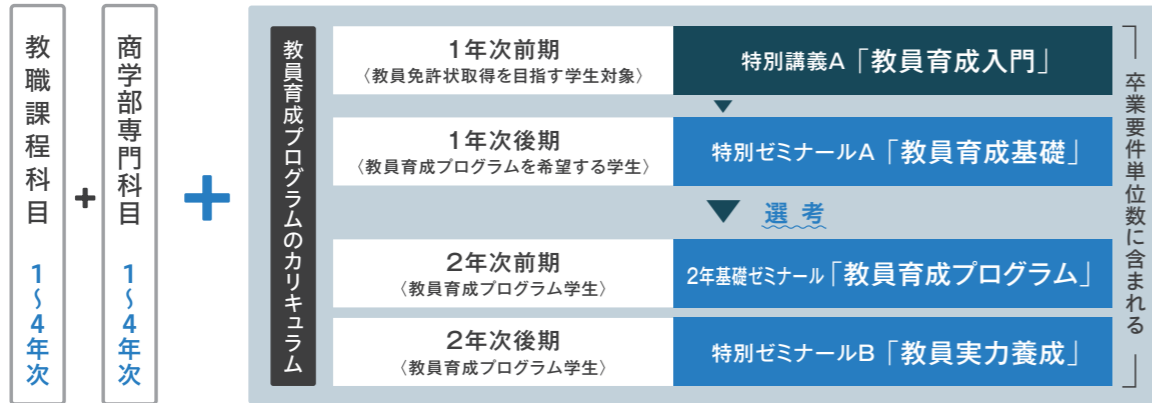
教職課程科目
教育スキル

専門科目
専門知識



プログラム教育体系

既存の教職課程に加え、商業高校等での指導経験豊富な先生による指導など、プログラム生専用のカリキュラム(卒業要件単位数に含まれる)を準備しております。



商業教育と情報教育の
二刀流プロ教師に!

学士(商学)

高等学校教諭
一種免許状
(商業・情報)



電子黒板を用いた教育実習風景

プロフェッショナルな教師を 共に目指しましょう

高校教員としての経験から、師弟の絆や実学教育の魅力、教員のやりがいなどを伝えていきたいと思えます。次代のプロ教師を目指し共に頑張りましょう。



田中 靖人 特任教授



高校での授業を想定した模擬授業の様子



ICTを活用した高校生との交流授業の様子

学生の声

在学生 教員採用試験に現役合格。春から福岡県の高校教員として新たな一歩。

松尾 さくらさん 商学部第二部商学科4年次生



私が教員を目指すきっかけとなったのは、高校時代に尊敬できる先生方に会えたことです。教員を目指すことができ、かつ、興味のある商学の分野を深く学びたいと思い、福岡大学商学部に進学しました。教員採用試験では筆記・面接・模擬授業があり、特に筆記試験では商業の知識が必要です。日々の講義を大切に、学んだことを資格取得にも生かしました。面接・模擬授業では、長年現場を経験された先生方ならではのアドバイスや指導をいただき、自信をもって試験に臨むことができました。「FuC教職ネット」などで得られた先輩方とのつながりや、一緒に勉強した友人や母校の先生方、教育実習で出会った生徒の存在も大きな力となり、教員採用試験に合格することができました。

在学生 志、そして、教員育成プログラムでの出会いと絆。

則政 里奈さん 商学部商学科3年次生



中学生の時の職場体験をきっかけに教員の道を志しました。教員免許を取得するための制度が整っている本プログラムに出会い、受験を決めました。このプログラムのメリットは、商業と情報の両方の免許を取得できる点です。プログラム内の単位は、専門科目の単位としても認められます。また、プログラム生同士は仲が良く、同じ志を持った仲間を見つけられたことで諦めずに続けようと思えました。さらに、「FuC教職ネット」を通じて商学部卒業の現役の先生方とつながることができます。その中で定期的に行われる講演やグループワークを通して現場の生の声を聞いたり、先輩とつながることで、自分に自信を持つことができ、目標に向かって頑張る原動力にもなりました。

Q. プログラムに参加しようと思ったきっかけや理由は何でしたか?

A. 「教師の仕事に興味があったことかな」
「私は高校生の時に教員を目指そうと決めてました」
「私はこのプログラムをみてしっかりしたサポートがあるし、仲間もできると思ったから」
「私は父から勧められ、興味を持ったことがきっかけです」

Q. プログラム学生として取り組んでみてどうでしたか?

A. 「このプログラムでは先生と仲間と一緒に勉強できているので、充実していました」
「教員の大変さを目の当たりにし諦めかけたことがあったのですが、素敵な先生と仲間に出会い、楽しく学ぶことができました」
「このプログラムで採用試験までに何をしなければならぬのか、しっかり具体的に理解できたり、ゲストも来てくれて自分のモチベーションを上げることができました」

※2022年取材時の情報です。

PICK UP!

FuC(福岡大学商学部)教職ネット

教員育成プログラムでは、本学部のOB・OGで実際に教育現場で活躍されている先生方との交流を定期的に行っています。このことによって、教育現場における実態を学び実践的指導力を強化するとともに、自信をもって「教員への道」を進んでもらえるよう工夫しています。教員になった後も先輩方があたたかく導いてくれます。

「FuC教職ネット」の実践例

講義

(商業高校における進学指導など)



教職の重要性とこれからの支える教員への期待が熱く語られた

グループワーク

(ICTを活用した授業展開など)



現職教員と学生が共通の教育課題について取り組むグループワーク

個別相談会

(先輩教員とのフリートーク)



教育現場で活躍される先輩方と1対1で語り合い「教職の使命と魅力」への理解を深めた

クリエイティブ・マネジメント・プログラム



クリエイティブの可能性をひらくひとになる。

クリエイティブ・マネジメント・プログラム (通称MaCOP)は、クリエイティブ産業、特にゲーム産業の経営者、プロデューサー、ディレクターといったサービス経営人材の育成を目的として開設された教育プログラムです。ゲーム産業の集積地でもある福岡市において、クリエイティブ産業(産業組織)研究、クリエイティブ企業研究、クリエイティブ産業に必要とされる人材育成を行います。



対象 商学部商学科・経営学科・貿易学科・商学部第二部

選抜 クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験

MaCOPにおける産官学連携

クリエイティブ・マネジメント・プログラムでは自治体、企業との産官学連携を進めます。産業における課題や希求される人材像およびマネジメント方法についての意見交換を通じ、研究活動および教育活動の発展や改善を行います。最新の研究知見を教育プログラムに反映させることで将来の産業振興や地域振興に資する有意な人材の育成に取り組めます。



MaCOPの2つの特長

1 クリエイティブ産業に関する知識を蓄積 ゲーム制作におけるマネジメント研究 組織論、管理論 産業およびビジネスモデルの研究 マクロ的な分析、データ蓄積 産学連携による課題解決型研究 action research 調査研究力の習得	2 クリエイティブ産業の世代を超えた交流の場を提供 実務家の講演会 実務家と学生との交流 学生同士の交流 デザイン系、工学系、マネジメント系 業界内交流 共同研究や講演会での交流
--	--

商学部なのになぜゲーム?

ゲームビジネスというのは、知的財産を作り出すエンターテインメント産業の一つです。人が生きていくために必要な娯楽を生み出す仕事ですので非常に重要です。だからこそ、難しさがあります。地域によって、もっというと人によって趣向が違います。そのような知的財産たる製品をどのように作っていくかというのは経営学では重要なテーマの一つだからです。このような趣味趣向が中心となる知的財産を生み出す産業をクリエイティブ産業と呼んで、その中でのマネジメントを研究・教育する場を作りたということで本プログラムを作りました。



プログラム受講生の声

在学生 MaCOPを通じて視野が広がった!

井土 菜月さん 商学部経営学科2年次生

Q1. プログラムの魅力は?

自分が興味を持つ分野について、先生方がアドバイスをしてくれる点や、外部講師などの専門の先生に接することができる点だと思います。「チームに分かれてアナログゲームを作る」といった授業がありましたが、そのときも外部講師の方とオンラインで相談することができ、そこで得たアドバイスを活動に生かすことができました。他にもプロット講座やウェブ記事制作など、さまざまな分野で学びを得ることができます。また、所属している演劇部でチラシを制作する機会があり、そこでも外部講師の方にデザインの本を紹介していただくなど、学生生活全般に生きるアドバイスやサポートをいただくことができました。MaCOPで活動する学生は、MaCOPの他にも商学部のゼミや部活動、アルバイトなどと両立できている学生が多いと感じます。どの活動も大変ですが、自分がやりたいことを全力ででき、それをサポートしてもらえる環境があります。



Q2. 将来について

プログラムに入る前と比較すると、考え方が変わり、さまざまな職種を見ることができるようになったと思います。入学当初は企画や動画編集にも興味がありましたが、コミュニケーション能力が必要な人材コーディネーターや会社の人事、芸能関係のマネージャーなどにも興味を持つようになりました。そのどれもが人に関わることで、自分がどのような仕事に就きたいのか、MaCOPを通じて自己理解が深まってきていると感じています。今自分の持てる力を伸ばし、将来は、どんな人が相手でも多方面でサポートできるような人になりたいと考えています。

在学生 プログラムで修得した専門性を生かして社会で活躍する。

永山 愛実さん 商学部経営学科4年次生
就職先: モバイルゲーム・家庭用ゲーム開発会社

MaCOPでは、ゲーム分析やボードゲーム制作、その販売まで行いました。どの活動もチームで協力して行うため、チーム活動において必要な組織力や協調性を学ぶことができました。就職活動では、第1志望のゲーム会社が学生アルバイトを募集していたため、アルバイトに参加し、実際に業務を行いながら、仕事内容や社内の雰囲気を感じ、企業分析を行いました。面接時に、MaCOPでの経験をお伝えすると面接官の方に興味を持っていただくことができました。MaCOPでの活動やアルバイトの経験を通じて培われた自分の力をアピールした結果、目指す進路の実現にもつながりました。



Q1. プログラムに参加しようと思ったきっかけは何ですか?

進路について考えていた高校生の頃、福岡大学のオープンキャンパスに行き、本プログラムの存在を知りました。当時からゲーム業界に就職したいという考えを持っていたため、説明を受け、ゲーム業界に携わるために一番近道なのはこのプログラムだと思いました。福大入学後はこのプログラムに参加しようという決意し、受験勉強に励みました。

Q2. プログラムを目指そうとしている高校生にメッセージをお願いします。

ゲーム業界などのクリエイティブ産業に携わりたいという思いを持っている方におすすめです。ゲーム業界を目指す学生で、ゲーム制作を行った経験がある人材は、比較的興味を持っていただきやすいと思います。プログラムの専用室は機材が豊富に整っており、自分のやりたいことをできる環境だと思います。また、先生方が業界に関する情報を共有してくださり、就職活動の相談にも応じていただけます。実際に私も就職活動の際にアドバイスをいただき、自信をもって就職活動に挑むことができました。MaCOPでの活動は今後の人生において大きな糧になると思います。ぜひプログラムを受講してみてください。

※2022年取材時の情報です。

PICK UP!

『クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』

クリエイティブ・マネジメント・プログラムは、ゲーム産業の経営者、プロデューサー、ディレクターの育成を目的とした教育プログラムです。

「ものづくり」と「研究・分析」

2年次生(クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ)では、ボードゲームの制作とゲームマーケットでの販売、シナリオライティング、ゲームの面白さ分析などを行います。3年次生(クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ・Ⅳ)では、クリエイティブ産業(ゲーム産業)の市場やビジネス・モデルの観点から調査・分析します。



地域ビジネスデザインプログラム



地域企業のリアルな課題に取り組む。

地域ビジネスデザインプログラムは、商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学、会計学およびマーケティングの理論教育を深化させるとともに、地域企業が実際に抱える課題に基づいて作成したビジネスケースを用い、調査研究と議論を通じて高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付け、企業が抱える課題の発見および解決を行うことができる人材を育成することを目的とします。



対象 商学部第二部 **選抜** 地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験

地域ビジネスデザインプログラムの目的

- 1 課題発見・解決力**
地域企業から出されるリアルな課題に取り組むことで、課題発見および課題解決力、それに関する調査能力を伸ばします。
- 2 事業開発等に必要な基礎知識**
体系化された経営学やマーケティングの講義を受講し、基礎的な知識の獲得ができます。
- 3 協働する力**
ゼミナールではチームでのディスカッションやプレゼンテーションの機会もあり、チームマネジメントや協働的な課題解決スキルも伸ばすことができます。

プログラム教育体系・カリキュラム

講義形式

ビジネスにおける基礎的な知識の獲得

マーケティング

データ分析などから市場の動向を知り、顧客の行動特性を理解して、どんなマーケティング戦略を立てるのか。マーケティングの基礎知識について学びます。

マネジメント

企業としてどのように戦略を構築し、組織の構造や社員の心理を考えながら、企業や事業の運営を行うのか。マネジメントの基礎知識について学びます。

会計

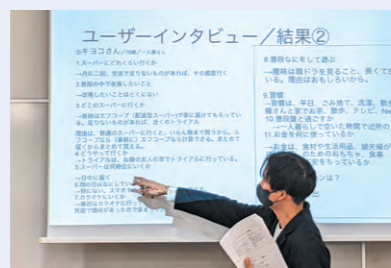
簿記や税務といった基本的な内容に加え、経営数値から企業の状況を理解し、マネジメントにどうつなげるのか。会計の基礎知識について学びます。

ゼミナール形式

グループでの実践的な演習

ビジネスデザインゼミナール

実際の企業から出されたテーマ(新規事業の立案、新商品およびサービスの開発、プロモーションプランの策定など)について、チームで試行錯誤しながらプランを考え、提案します。課題発見や解決力や提案力はもちろん、チームマネジメントを行う力も伸ばすことができます。講義で学んだ知識を応用したり、演習での体験から理論的知識への理解が深まります。



プログラム参加者の声

在学生 **社会人に食らいつき、実感できるほどの成長を。**

中川 真之介さん 商学部第二部商学科2年次生

このゼミに参加することで、社会人の方と関われる良い機会なので参加しました。最初は新規事業を考えるのはとても苦労しました。私たち学生は社会人と知識の差がありました。しかし徐々にインプットも増えて、回を増すごとに積極的に発言できるようになり、最後のゼミの発表では、自分でもわかるほどに成長を実感できました。



在学生 (社会人学生) **積極的に取り組める環境で、社会人としてステップアップ。**

松元 紫帆さん 商学部第二部商学科2年次生

非常に実践的な内容であったこと、かつ自身の提案力向上、社会人としてのさらなるステップアップを目指しゼミへの参加を決めました。3、4人のチームに分かれ、実際に企業の新規事業立案について試行錯誤の日々でした。チーム内でさまざまな意見を出し合うなど、積極的に参加せざるを得ない環境だったからこそ、ビジネスモデルキャンパスなど講義内での学びを身に付けることができた1年間でした。



プログラム参加 社会人 **情熱重視だった新規事業プロセスを学術的に理解。**

山内 那津子さん 株式会社Torch 取締役

実際の企業から新規事業の立案を課題として与えられ、最終的に自分たちが考えた事業をプレゼンしました。「情熱」だけを頼りに新規事業開発を行ってきた私でしたが、学術的に理解できたことにより、普段の業務でも根拠のある選択や行動をとれるようになりました。また、チーム活動が主だったので自分の視野だけでは気付かなかった発見や思考に触れることができ刺激の多い充実した時間でした。



連携企業 **最新の理論に基づいた未来の事業開発への学び。**

斉田 敏弥さん 株式会社マルキョウ 経営企画室 室長

2022年4月から1年間、地域デザインプログラムを受講されている学生の皆さまと一緒に、弊社の経営資源を活用した新規事業を考察していただきました。学生の皆さまはプログラムで学習された最新の知識を生かし、さまざまな社会課題を解決する新規事業案を出され、弊社としても非常に勉強させていただくとともに、感銘を受けました。今後も福岡大学様と弊社の連携を通じて、未来の社会を支える新規事業を考えていければと思います。



※2022年取材時の情報です。

PICK UP!

「地域ビジネスデザインゼミナール」について

本プログラムにおいて最も重要な演習です。実際の企業から提示されるテーマ(新規事業開発、新規サービスや商品の開発、プロモーションプランなど)に対して、参加者でチームを組み、1年間かけて試行錯誤し、最終プランを課題提示企業に対してプレゼンテーションをします。商学部の学生も参加しますので、新鮮な視点も得ながらチームマネジメントも学ぶことができます。

実践的な課題発見・解決能力を伸ばします

本プログラムは夜間部の特性を生かし、実際の企業課題に社会人・学生混成で取り組みます。意欲高い仲間と第二部ならではの刺激を得て、大きく成長しましょう。

森田 泰暢 准教授

海外交流ゼミナール



商学部独自のプログラムで世界を体感!

国際ビジネスにおいて活躍できるグローバル人材育成を目的とした、現地企業にも密着した商学部ならではの単年度の専門教育科目です。現地で体験を通して、世界への強い興味・関心を持ったグローバル人材を育成することを目的としています。事前研修の講義では、現地の社会経済事情などについて各分野の専門家から学びます。現地研修では、提携先の大学で講義を受け、学生との交流や視察も行います。



対象 商学部商学科・経営学科・貿易学科・商学部第二部

選抜 書類審査と面接

※福岡大学商学部の代表として派遣します。そのため、GPAやゼミへの参加意欲が重要な基準になります。



アメリカ・オレゴン大学で学ぶ短期研修が2023年からスタート!



日本にとって政治、経済、ビジネスの分野において最も重要な相手国の一つである米国。本ゼミナールでは、現地学生とともに寮において生活することでその文化や異文化との共生などを学びます。

▶ 福岡大学での事前講義を経てアメリカ・オレゴン大学へ!

▶ オレゴン大学英語教育学部教師陣による、週18時間におよぶ授業と演習!

▶ F-1ビザ※を取得! ※アメリカの認定大学における正規授業及び語学研修を受ける際に必要なビザ



海外交流ゼミナールの特徴

国際的に活躍できる、異文化社会でのコミュニケーション能力を備えたグローバル人材を育成します。

1 丁寧な事前研修

前期を通して事前研修を行いますので、海外に不慣れた学生さんも安心して参加できます。

3 現地研修も正課の講義の一部

本ゼミナールで得た単位は商学部・商学部第二部の卒業単位に認定されます。

2 短期集中の現地研修

夏季休暇期間中に2週間程度の現地研修。そのため普段の講義履修にも支障ありません。

4 国際情勢などへの柔軟なリスク管理

これまでも国際情勢や現地の治安状況などに応じて柔軟に現地研修を実施。

商学部Q&A

■ 商学部・商学部第二部共通

一般編

Q 商学部(および商学部第二部)と経済学部の大きな違いを教えてください。

A どちらの学部も社会・経済の仕組みを学ぶことには変わりはありません。ただし、商学部では、「企業」にまつわる経済活動を中心に学ぶのに対して、経済学部では「社会」全体の経済活動を学ぶという表現もできます。「企業」とは、「会社」と置き換えることもできます。また、「企業」を学ぶためには、「社会」を理解する必要もあります。そこで、商学部では、経済全体についても学修しながら、経営、会計、マーケティング、金融、貿易などの各専門分野を深く学んでいくことになります。



Q 入学後に商学部のある学科から他の学科に移籍することや、商学部第二部(夜間部)から商学部(昼間部)に移籍することはできますか?

A 移籍できます(医学部 医学科・看護学科、薬学部を除く)。学部や学科を変更することを転部・転科といいます。商学部第二部から商学部(昼間部)に転部する学生は例年十人前後います。

Q 移籍方法や条件を教えてください。

A 希望する学科が提示する条件を満たした上で、選考試験に合格することが必要です。募集の詳細については、毎年12月上旬～中旬に説明会を開催しています。

Q 商学部および商学部第二部は、情報や商業科の高校の卒業生が多いまたは有利ですか? 普通科出身は少ないですか?

A 商学部でも普通科出身者がほとんどを占めます。簿記や情報処理科目などは、情報科や商業科出身の学生が知識やスキルの面で有利かもしれませんが、ほとんどの科目は大学入学後に勉強を始めますので、普通科出身者にとって不利というわけではありません。

学修編

Q 少人数の授業にはどのようなものがありますか?

A ゼミナール(概ね20人以下)、外書講読などがあります。特にゼミナールは、商学部のコアとなる科目の一つで、少人数で同級生や先生と専門を学びます。多くの商学部生がいずれかのゼミに所属して学んでいます。

Q 商学部および商学部第二部では、携帯できる自分のパソコンがある方が良いですか?

A 福岡大学ではBYOD [Bring Your Own Device:個人のスマホやタブレットやPCなどのデバイスの使用] の推進を掲げています。情報関連の科目では、個人のノートPCがあった方が学修上プラスになるでしょう。情報関連科目以外でもリモートやオンデマンドで行われる授業もありますので、なるべく快適に受講できるタブレットやノートPCなどがあった方が良いでしょう。

Q 情報(処理)系の勉強もできますか? どれくらいのレベルを授業で学べますか?

A 1年次から履修できる情報表現技術では情報のリテラシーを学びます。2年次以降の情報処理入門、情報処理基礎は、ExcelやAccessによるデータ処理からプログラミングの基礎まで学ぶことができます。応用編としてはマルチメディア概論や情報システム論があります。

Q 他の学部の授業を受けることはできますか? 商学部の他の学科の授業を受講することはできますか?

A 関連教育科目といって他の学部の授業であっても商学部の卒業単位として認められるものがあります。自学科以外の科目も履修可能です。また、福岡市内の五大学連携で単位互換科目という他大学で履修できる科目も用意されています。



■商学部・商学部第二部共通

各種プログラム編

Q 入学後に会計専門職プログラムに入ることができますか？

A 入学後でも1年次生または2年次生の前期期間中に選抜試験があり、それに合格すれば会計専門職プログラム生になることができます。毎年20人ほどの学生が選抜試験を経て、会計専門職プログラム生になっています。

Q 会計専門職プログラムで公認会計士や税理士に合格しなかった卒業生は、どのような就職をしていますか？

A 卒業後も就職せずに引き続き公認会計士や税理士を目指して勉強を続ける卒業生もいますが、多くは会計専門職プログラムで学修した知識を生かして日本全国や九州地域の有力企業に就職しています。就職活動では、会計専門職プログラムで厳しい勉強に取り組んだ経験が自信となりますし、学生を採用する企業もその経験を高く評価してくださっているようです。

Q クリエイティブ・マネジメント・プログラムとは何ですか？どのような勉強をしますか？

A プログラムでは、クリエイティブ産業の企業経営に関することやゲーム制作に関する知識・技術を学びます。具体的には、市販されているゲームの分析、シナリオライティング、アナログゲームの制作・販売等を行っています。また、プログラムの実習室でデジタルゲームの制作を行っているプログラム生もいます(P.30参照)。

Q 教員育成プログラムとは何ですか？商学部各学科・商学部第二部の誰でも入ることができますか？

A 高校商業・情報科教員育成プログラムは、卒業までの4年間で確実に商業および情報の教員免許を取得するだけでなく、教員採用試験に合格して教壇に立てるように、1年次から教員の資質および仕事の内容をより詳細に学習するとともに、プログラムの学生同士が切磋琢磨して目標を達成するためのプログラムです。このプログラムは商業および情報の教員免許を取得できる商学科、経営学科および第二部商学科の学生が参加できるプログラムです(P.28参照)。

Q 各プログラムは、学費の他に費用がかかりますか？

A 学費以外は不要です。もしかかったとしてもゼミナールなどでも発生するような費用のみです。例えば、教科書代や宿泊費用などです。



■商学部

一般編

Q 商学部と経済学部で迷っています。どちらが就職に強いのですか？

A 学部によって就職に有利不利というのは生じないと思います。ただし、どういう業界(企業)にはどういう学部が向いている(強い)というのはあるかもしれません。しかし、こうした情報はあくまで「傾向」であり、学部選びで一番大切なことは学びたい科目があるかどうかです。例えば、マーケティングに興味を持ってそれを一生懸命に勉強すれば、そこからマーケティングを生かした企業に入りたいと思うようになり、どんな企業があるかを主体的に自分で調べようとするようになります。そうした姿勢を持って人が希望の企業に就職できているようです。(福岡大学『大学案内 2024』P.034～SUPER INDEX「将来の進路」および「学びのキーワード」参照)。

Q 学科によって就職先の傾向は変わりますか？

A 商学部と経済学部の就職先の違いについての回答と同様です。例えば、貿易学科で英語を勉強しているうちに、英語に関心が高まり、語学を生かせる企業にはどのようなところがあるのかな、というように興味が広がっていきます。学部や学科が希望の就職先に導くのではなく、自分自身の主体的な意志により良い就職先に出会うと考えた方がいいと思います。

Q 商学部の主な就職先や職種・業種を教えてください。

A 商学部の就職先の例は以下をご参照ください(商学部第二部はP.20参照)。また『大学案内 2024』や公式ウェブサイトでも商学部に限らず、全学部のデータがご覧いただけます。

【就職先の例 2020年度～2022年度】

<p>建設業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鹿島建設(株) ● セキスイハイム九州(株) ● (株)九電工 <p>製造業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コカ・コーラボトランスジャパン(株) ● 小野薬品工業(株) ● 京セラ(株) ● 三菱電機(株) ● TOTO(株) <p>電気・ガス・熱供給・水道業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 九州電力(株) <p>情報通信業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富士通(株) <p>運輸業、郵便業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山九(株) ● 西日本鉄道(株) <p>卸売業、小売業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住友商事九州(株) ● (株)良品計画 ● アルフレッサ(株) ● (株)PALTAC 	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)新出光 ● TOTO九州販売(株) ● (株)セブンイレブン・ジャパン ● (株)博多大丸 <p>金融業、保険業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (株)西日本シティ銀行 ● (株)福岡銀行 ● (株)ゆうちょ銀行 ● SMBC日興証券(株) ● みずほ証券(株) ● 明治安田生命保険相互会社 ● 全国労働者共済生活協同組合連合会 <p>不動産業、物品賃貸業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住友不動産販売(株) ● 西部ガス都市開発(株) ● 福岡国際空港(株) <p>学術研究、専門・技術サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有限責任あずさ監査法人 ● EY新日本有限責任監査法人 ● 有限責任監査法人トーマツ <p>宿泊業、飲食サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (株)星野リゾート・マネジメント ● 日本マクドナルド(株) 	<p>生活関連サービス業、娯楽業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アイ・ケイ・ケイ(株) ● (株)JTB <p>医療、福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本赤十字社福岡支部 ● 全国健康保険協会 <p>複合サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全国農業協同組合連合会 ● 日本郵便(株) <p>サービス業(他に分類されないもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 九電産業(株) ● トランスコスモス(株) ● 福岡商工会議所 <p>公務(他に分類されるものを除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国家公務員一般職 ● 財務専門官 ● 国税専門官 ● 福岡県庁 ● 福岡市役所 ● 福岡県警察本部
---	---	--

など

学修編

Q 商学科、経営学科、貿易学科では、学ぶ内容が全く異なりますか？それぞれの学科でどのような知識や考え方を身に付けることができますか？

A **商学科** 商業という活動を、流通・マーケティング、金融、保険、交通などの分野について、商業史的背景や情報社会の現状も含めて、分野別にあるいは総合的に学ぶことができます。

経営学科 商業という活動は主として“企業”によって実行されます。本学科では、その企業をコントロールする「方法」を学びます。

貿易学科 商業の「グローバル化」に対応するために、英語による商取引のためのコミュニケーションや、世界各地域の経済事情を学びます。

Q 希望する先生のゼミナールに入ることができますか？

A ゼミナールには定員があります。希望するゼミナールに定員を超える希望者があった場合、必ずしも第一希望のところに入ることができないかもしれませんが、第二次募集、第三次募集も行われますので、いずれかに所属することは可能です。

Q 途中で別のゼミナールに変わることはできますか？

A 原則としてできません。2年次後期からの専門ゼミナールは、そのまま3年次の専門ゼミナール、4年次の論文ゼミナールへと持ち上がります。2年半、同じ先生の下、同じ仲間とともにゼミナール活動を行い、最終年次には卒業論文を書きます。

Q ゼミナールは入った方が良いですか？どのような活動をするのですか？

A ゼミナールの単位は必修ではありませんが、商学部のコア科目の一つとして位置付けられており、入ることを勧めています。活動はゼミナールによって異なります。ゼミナールで合宿旅行に行ったり、企業とコラボした活動を行ったり、商経ゼミナール連合部に加入して、論文やプレゼンテーションを作成して全国の大学とのゼミナール大会に出場したりとさまざまです。

Q ゼミナールや卒業論文は必修ですか？

A 昼間部のゼミナールや卒業論文は選択科目で必修ではありません。

■商学部第二部[夜間部]

一般編

Q 商学部(昼間部)ではなく商学部第二部を選択するメリットを教えてください。

A 働きながら学ぶなど、昼間の時間を有効活用できることです。また、学修内容は昼間と同等以上であるといってもよいにもかかわらず学費が約半分で経済的負担が軽いことです。

Q 商学部(昼間部)と比較して就職に不利でしょうか？

A 特に不利ということはありません。過去の就職データを見ても、商学部(昼間部)と内定先企業はほとんど同じであり、昼間部でない採用されない企業は無いといえます(P.20参照)。

Q 夜間部の授業は何時から何時までですか？商学部(昼間部)の授業を受けることはできますか？

A 第二部の授業は、午後6時から午後9時10分までの2時間です。ただし、卒業に必要な単位124のうち40単位(会計専門職プログラム生は60単位)までは、昼間部の授業を履修することができます。

Q 商学部(昼間部)と同じ授業が夜間にあるのですか？

A 一部の科目は第二部には設けられていませんが、昼間部の時間帯に履修して卒業単位とすることができます。

Q 夜間の授業だけでも4年間で卒業できますか？

A 第二部(夜間)の授業だけを履修しても4年間で卒業することができます。

Q 夜間にもゼミナールはありますか？卒業論文は必修ですか？

A 第二部にもゼミナールはあります。選択必修科目とされていますが、ゼミナールの中から必ず1科目選択しなければならないため、第二部ではゼミナールは実質的に必修科目となっています。希望すれば昼間部の卒業論文のゼミに参加することもできます(参加するためには、選考に通る必要があります)。

Q 商学部第二部だとクラブ活動はできませんか？

A 第二部の学生たちのためのクラブ・サークルがあります。夜2限(午後9時10分終了)後に活動します。また、時間さえ許せば、昼間部のクラブ・サークル等に所属して活動することもできます。

Q 社会人の学生は多いですか？

A 社会人の学生は昔ほど多くはありません。ほとんどの学生は昼間部と同じ年代の学生です。

